

第5期

**岩美町地域福祉計画策定のための
アンケート調査結果報告書**

令和6年12月

岩美町

第5期岩美町地域福祉計画策定にかかるアンケート調査の概要

(1) 調査の目的

町民の皆様の地域福祉に関する意識、ニーズ、課題などを把握し福祉計画を見直すうえでの資料とする。

(2) 調査の概要

①調査対象者 町内在住の20歳以上の男女1,200名

20歳～29歳 男性100名 女性100名

30歳～39歳 男性100名 女性100名

40歳～49歳 男性100名 女性100名

50歳～59歳 男性100名 女性100名

60歳～69歳 男性100名 女性100名

70歳～ 男性100名 女性100名

計 600名 600名

②抽出方法 地区別・男女別・年齢別に無作為に抽出

③調査方法 郵送配布、郵送回収、QRコードによる回答

④調査実施期間 令和6年9月27日（金）まで

(3) 設問の概要

①地域のつながり、近所付き合いについて

②福祉についての情報源と相談窓口

③地域活動やボランティア活動について

④地域の福祉環境について

⑤地域福祉施策に対する意識調査について

(4) 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,200通	400通	33.3%

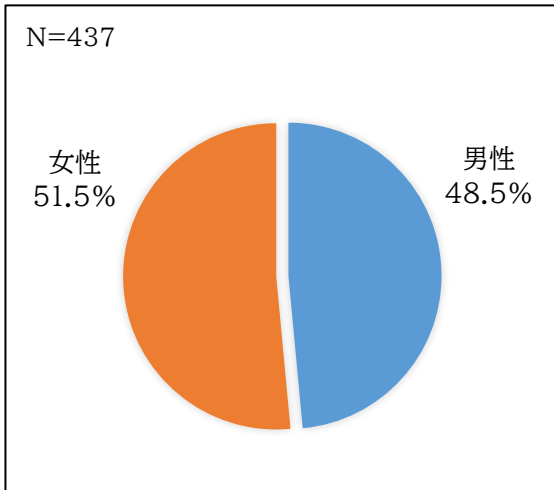
【問1】 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

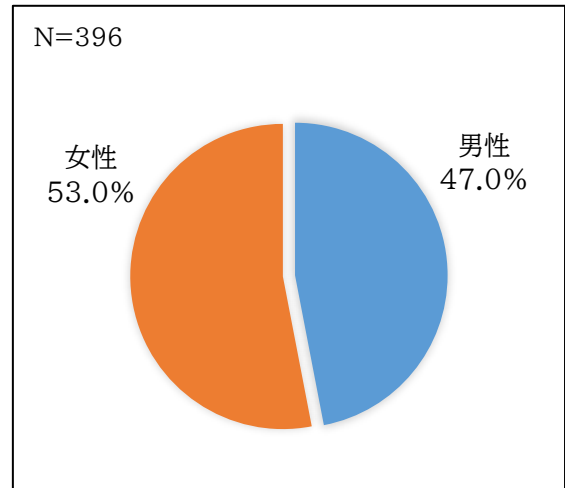
「男性」の割合が47.0(48.5)％、「女性」の割合が53.0(51.5)％の回答がありました。

※括弧書きは、前回のアンケート調査の結果で、以下同じ。

[令和元年度調査]



[令和6年度調査]

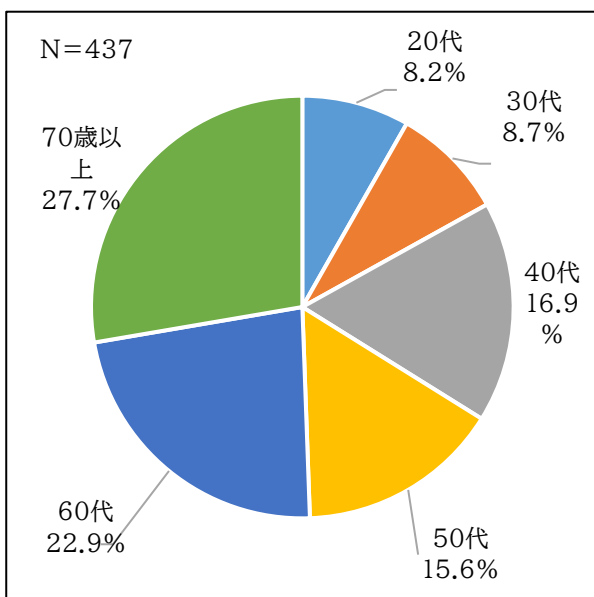


【問2】 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

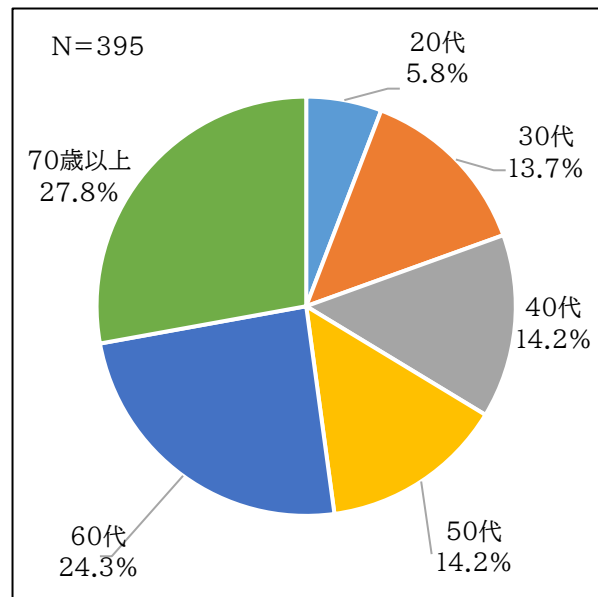
- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 |
| 4. 50代 | 5. 60代 | 6. 70歳以上 |

「70歳以上」の割合が、27.8(27.7)％と最も高く、次いで「60代」の割合が24.3(22.9)％と前回の調査と同じく年代が高いほど回答率が高い傾向にありました。

[令和元年度調査]



[令和6年度調査]



【問3】あなたのお住まいの地区はどこですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 東地区 | 2. 浦富地区 | 3. 田後地区 |
| 4. 網代地区 | 5. 大岩地区 | 6. 本庄地区 |
| 7. 小田地区 | 8. 岩井地区 | 9. 蒲生地区 |

各地区の回答数は、以下のとおりでした。

地区名	令和元年度	令和6年度
1. 東地区	30	21
2. 浦富地区	142	130
3. 田後地区	18	20
4. 網代地区	17	15
5. 大岩地区	80	88
6. 本庄地区	45	38
7. 小田地区	35	22
8. 岩井地区	50	43
9. 蒲生地区	19	19
無回答	3	4
計	439	400

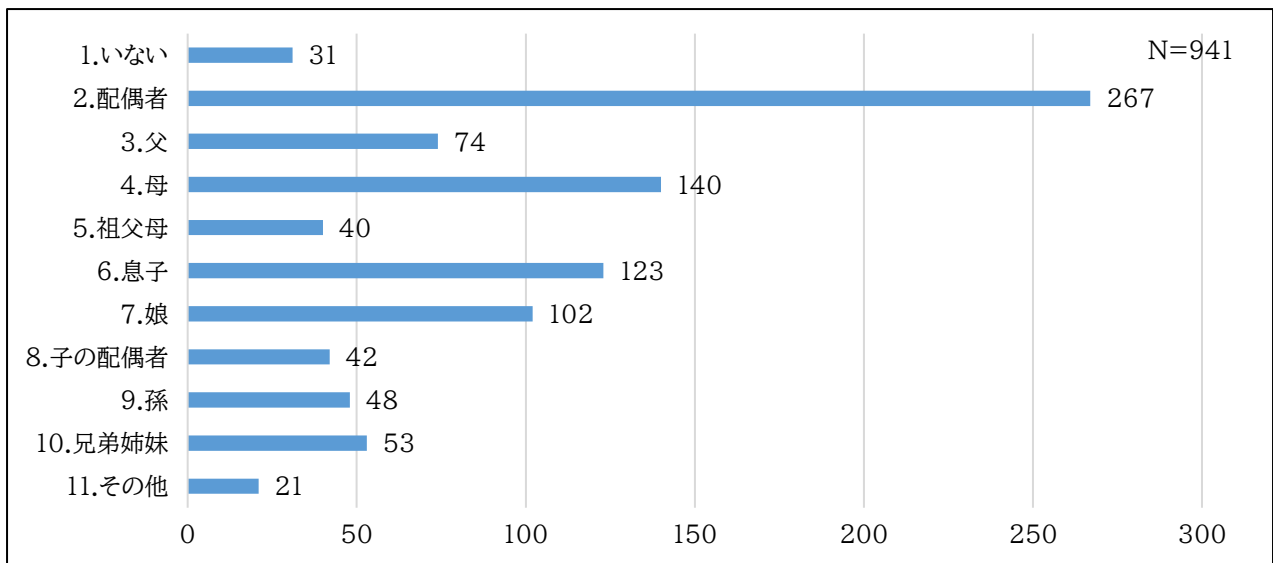
【問4】あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか？（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|------------|-------|
| 1. いない（ひとり暮らし） | 2. 配偶者 | 3. 父 |
| 4. 母 | 5. 祖父母 | 6. 息子 |
| 7. 娘 | 8. 子の配偶者 | 9. 孫 |
| 10. 兄弟姉妹 | 11. その他（ ） | |

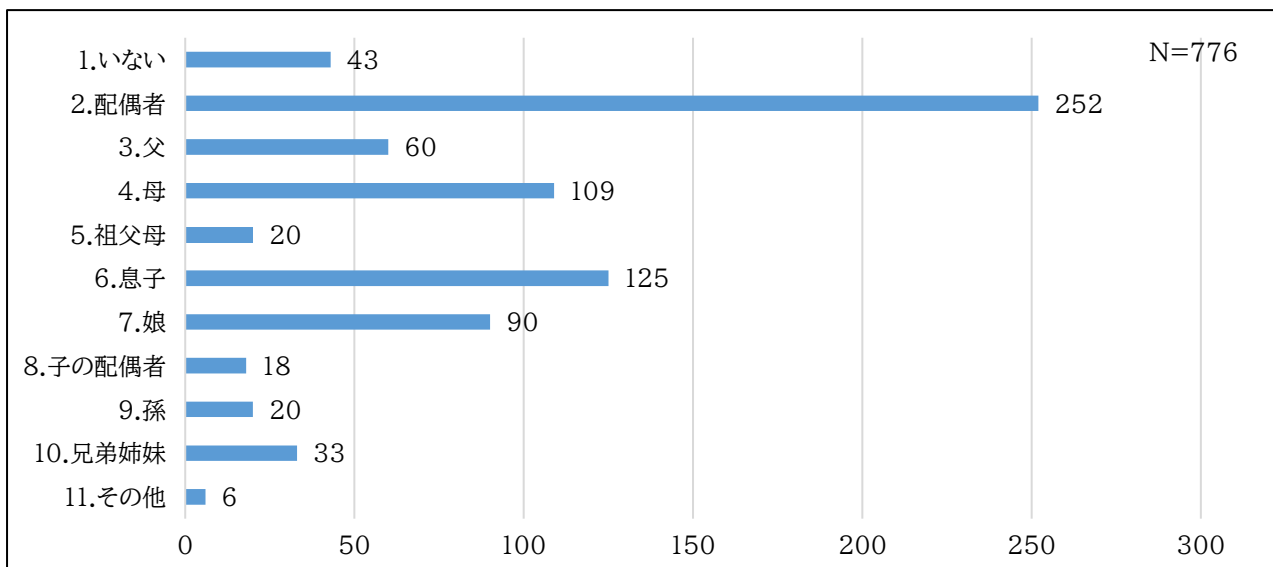
「配偶者」が252（267）件と最も多く、次いで「息子」が125（123）件、「母」が109（140）件、となっています。回答件数776件÷回答者400世帯=1.9（2.2）人／世帯で、核家族化が進んでいると推測されます。

「その他」について、「義父母」、「義妹」、「伯母」、「仲間」と記載がありました。

【令和元年度調査】



【令和6年度調査】

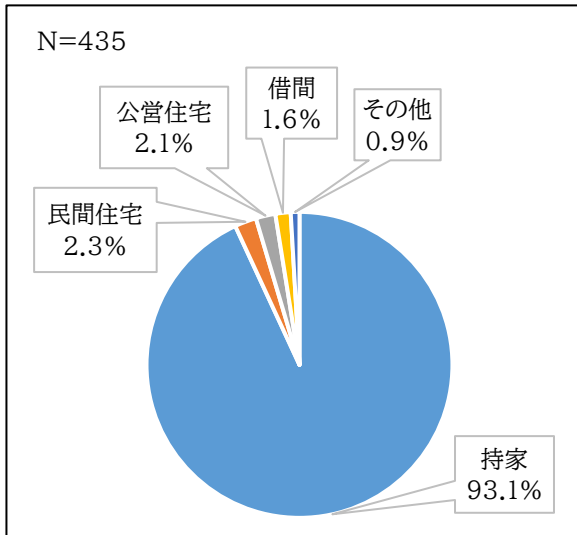


【問5】あなたのお住まいの形態はどれですか。(○は1つだけ)

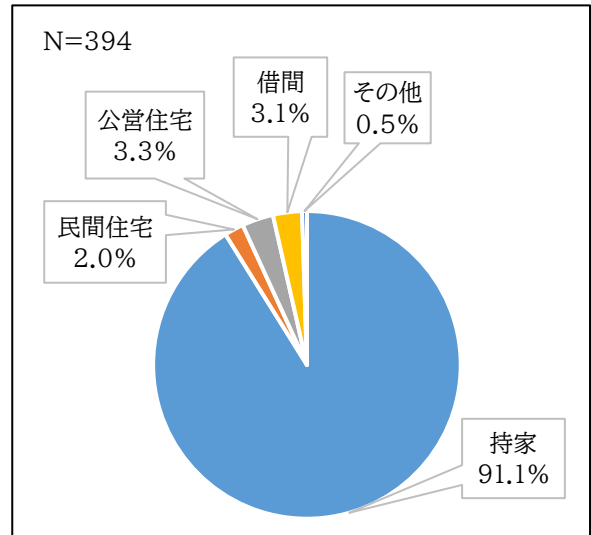
- | | | |
|-------|------------|---------|
| 1. 持家 | 2. 民間住宅 | 3. 公営住宅 |
| 4. 借間 | 5. その他 () | |

前回の調査と同じく「持家」の割合が91.1(93.1)%と最も高くなっています。「その他」について、「賃貸(一軒家)」と記載がありました。

[令和元年度調査]



[令和6年度調査]

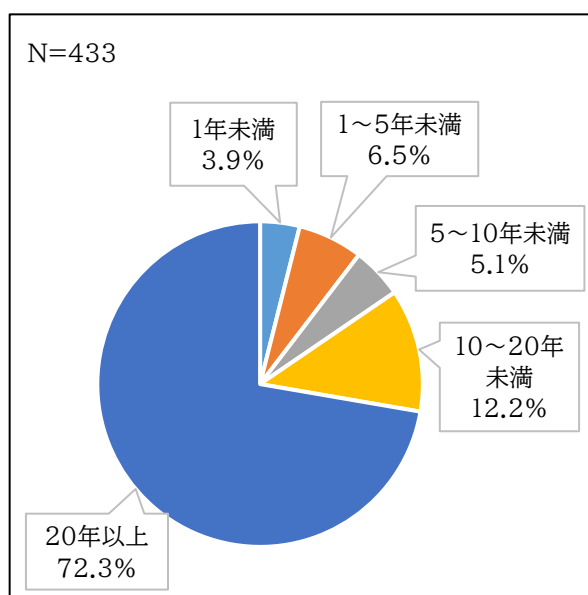


【問6】あなたが今の住所に住んでから通算で何年になりますか。(○は1つだけ)

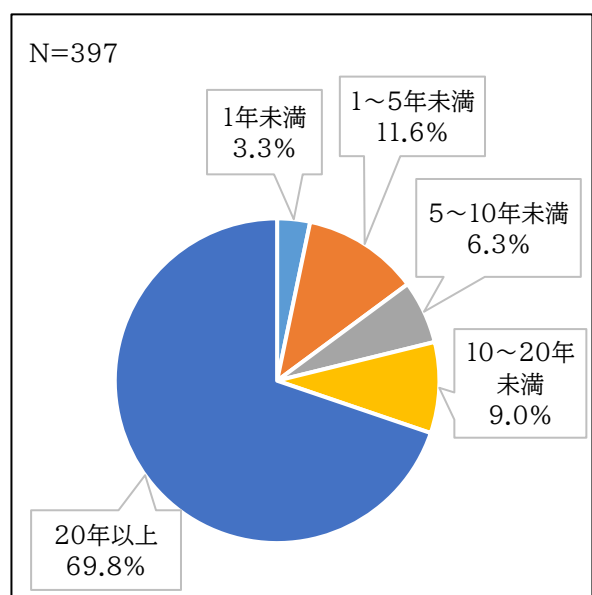
- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年～5年未満 |
| 3. 5年～10年未満 | 4. 10年～20年未満 |
| 5. 20年以上 | |

前回の調査と同じく「20年以上」と「10～20年未満」の割合が78.8(84.5)%で、多くの方が長期にわたり岩美町に住んでいます。

[令和元年度調査]



[令和6年度調査]

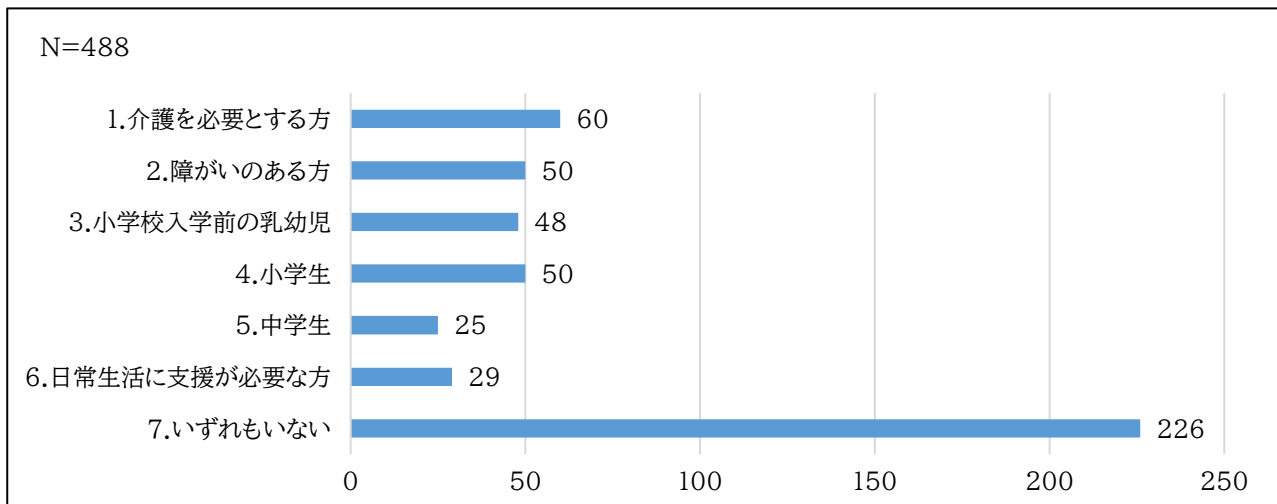


【問7】あなたのご家族（ご自身を含む）に、次のような方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

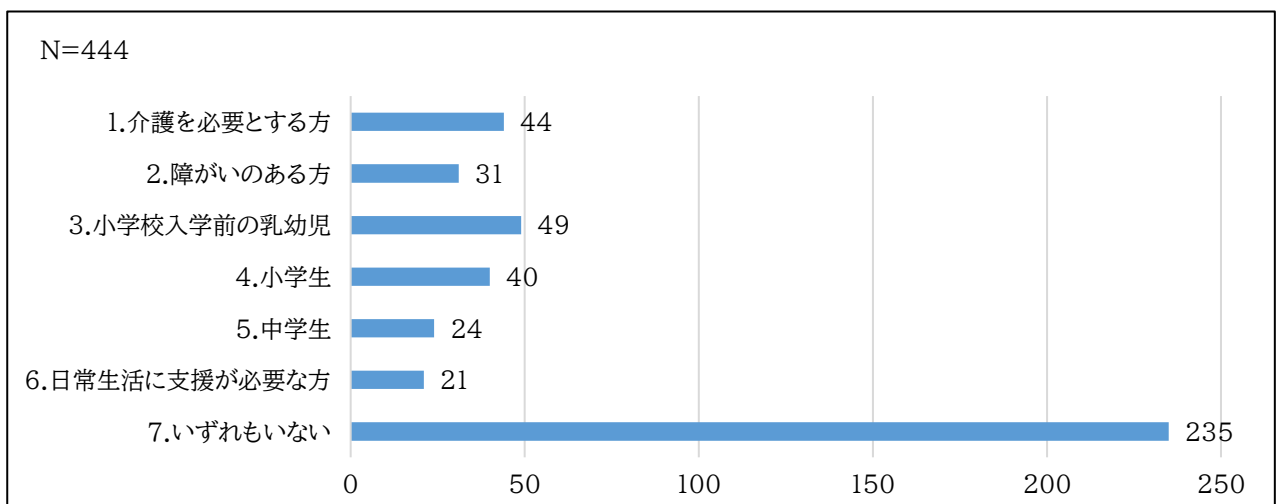
- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 介護を必要とする方 | 2. 障がいのある方 |
| 3. 小学校入学前の乳幼児 | 4. 小学生 |
| 5. 中学生 | 6. 日常生活に支援が必要な方(1～5を除く) |
| 7. いずれもない | |

「いずれもない」が235（226）件と最も多く、次いで「小学校入学前の乳幼児（介護を必要とする方）」が49（60）件、「介護を必要とする方（障がいのある方、小学生）」が44（50）件となっています。

【令和元年度調査】



【令和6年度調査】



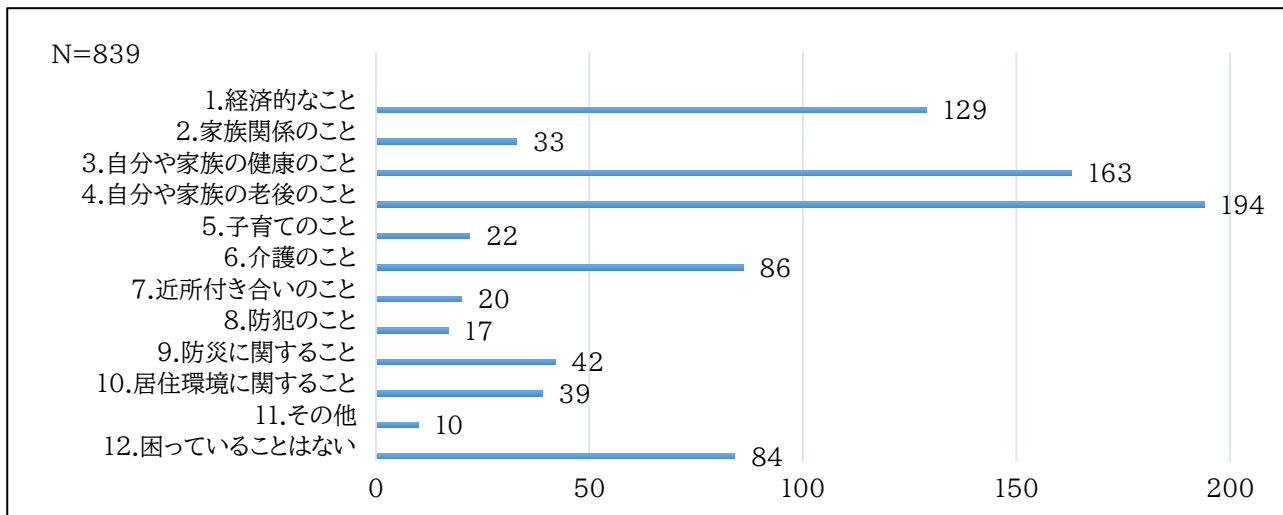
【問8】あなたが今、困っていることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 経済的なこと | 2. 家族関係のこと |
| 3. 自分や家族の健康のこと | 4. 自分や家族の老後のこと |
| 5. 子育てのこと | 6. 介護のこと |
| 7. 近所付き合いのこと | 8. 防犯のこと |
| 9. 防災に関すること | 10. 居住環境に関すること |
| 11. その他 () | 12. 困っていることはない |

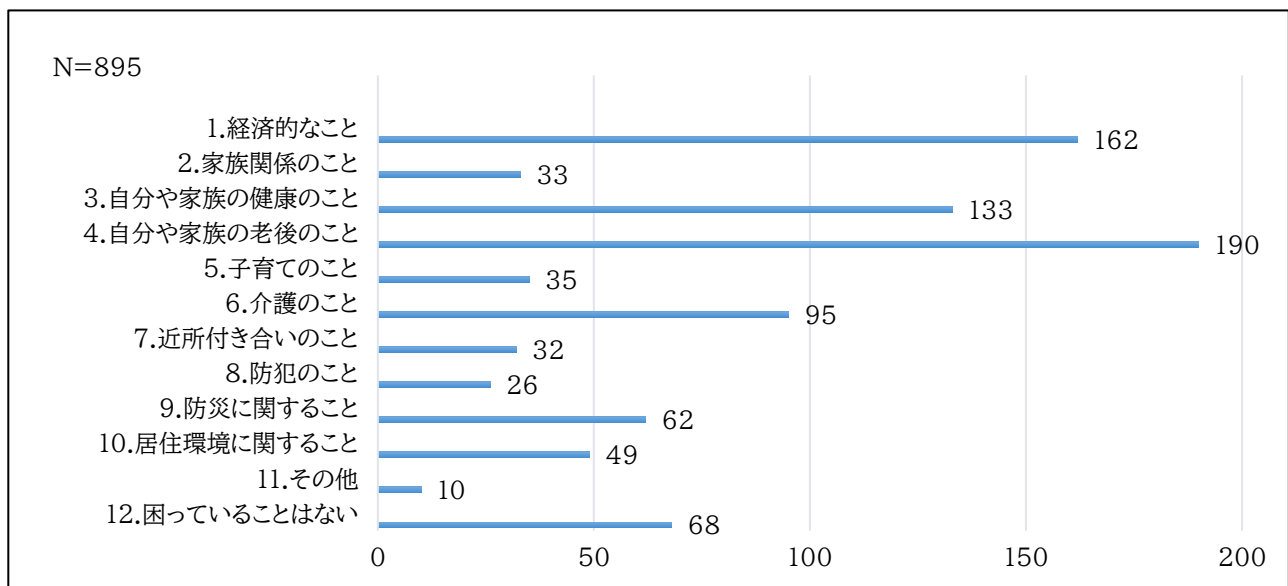
「自分や家族の老後のこと」が190(194)件と最も多く、次いで、「経済的なこと(自分や家族の健康のこと)」が162(163)件、「自分や家族の健康のこと(経済的なこと)」が133(129)件となっています。

「その他」は、「子の結婚」、「仕事がない」、「自治会のこと」、「近隣のこと」、「将来1人になった場合の不安」などの記載がありました。

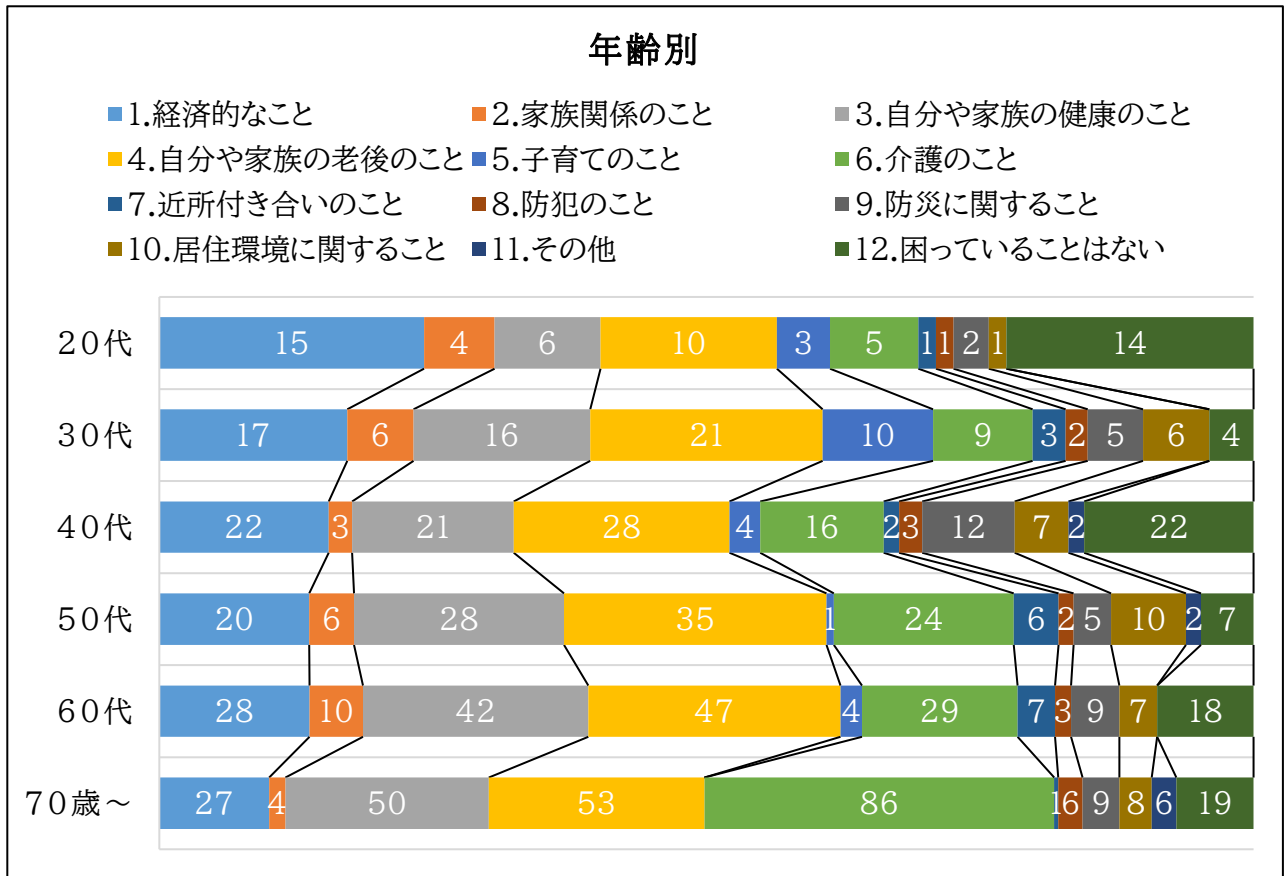
【令和元年度調査】



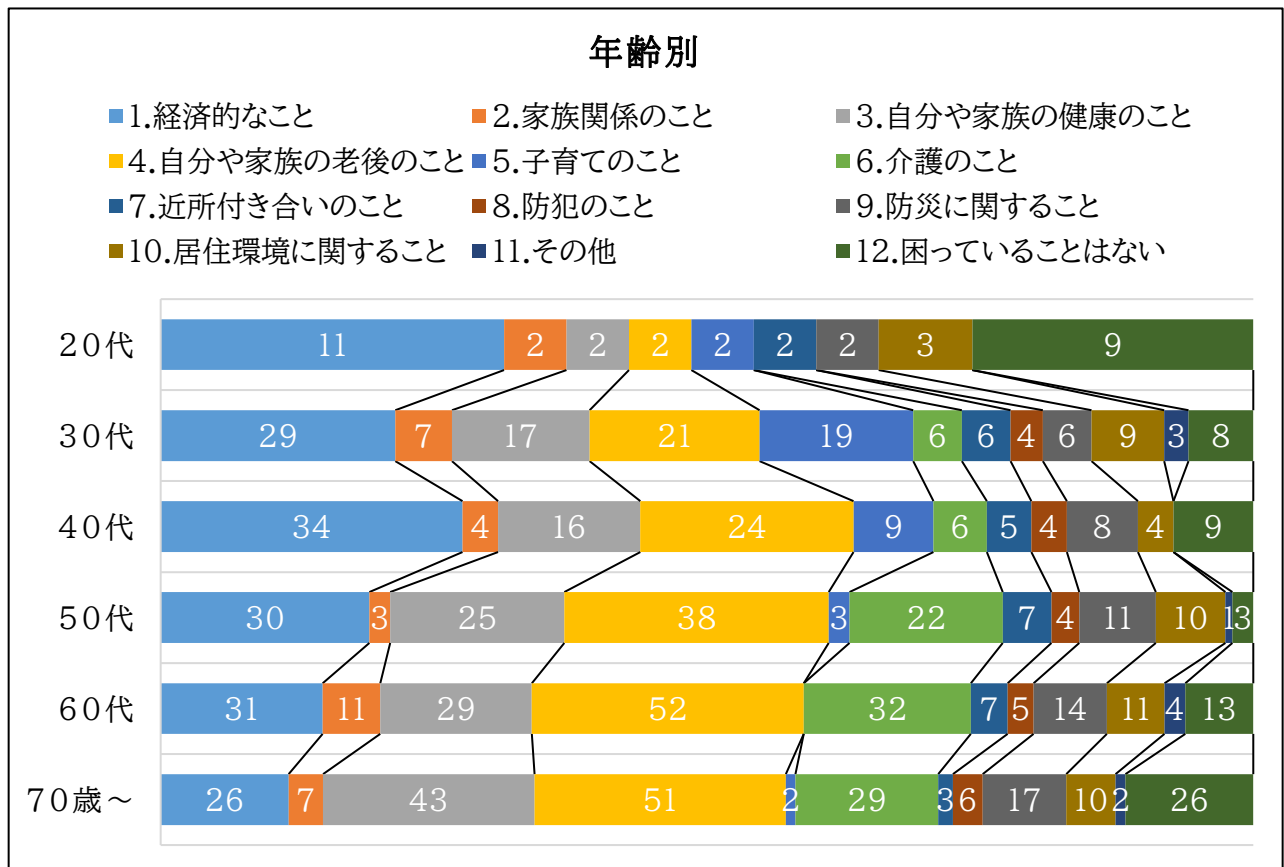
【令和6年度調査】



[令和元年度調査]



[令和6年度調査]



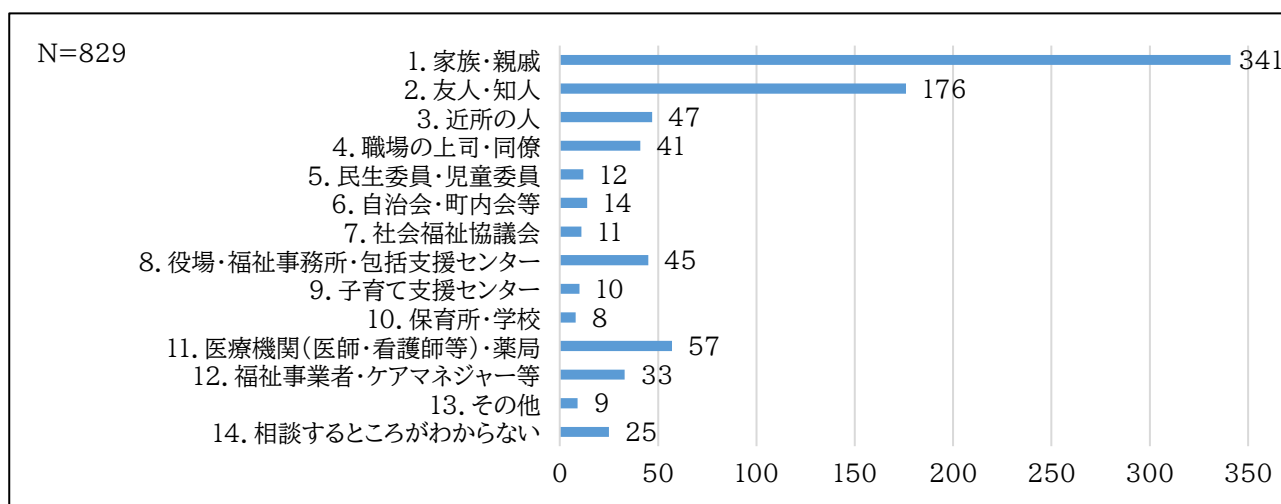
【問9】あなたは困ったとき誰（どこ）に悩みを相談しますか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 職場の上司・同僚 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 6. 自治会・町内会等 |
| 7. 社会福祉協議会 | 8. 役場・福祉事務所・包括支援センター |
| 9. 子育て支援センター | 10. 保育所・学校 |
| 11. 医療機関（医師・看護師等）・薬局 | 12. 福祉事業者・ケアマネージャー等 |
| 13. その他（ ） | 14. 相談するところがわからない |

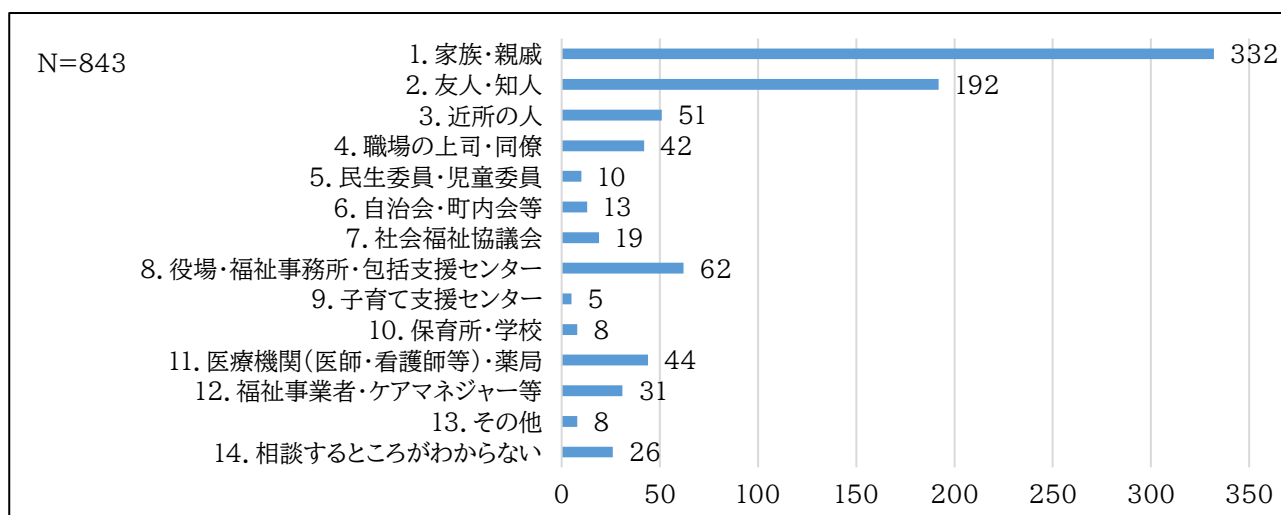
前回の調査と同じく「家族・親戚」が332（341）件と最も多く、次いで「友人・知人」が192（176）件となっており、約6割の方が身近な人に相談しています。「相談するところがわからない」は、前回調査とほぼ同じで26（25）件でした。

「その他」について、「自分で解決する」、「専門的な機関」、「困った内容に異なる」、「あまりしないようにしている」などの記載がありました。

【令和元年度調査】



【令和6年度調査】



【問10】あなたは福祉（制度・サービス等）に関する情報をどこから得ていますか。（〇はいくつでも）

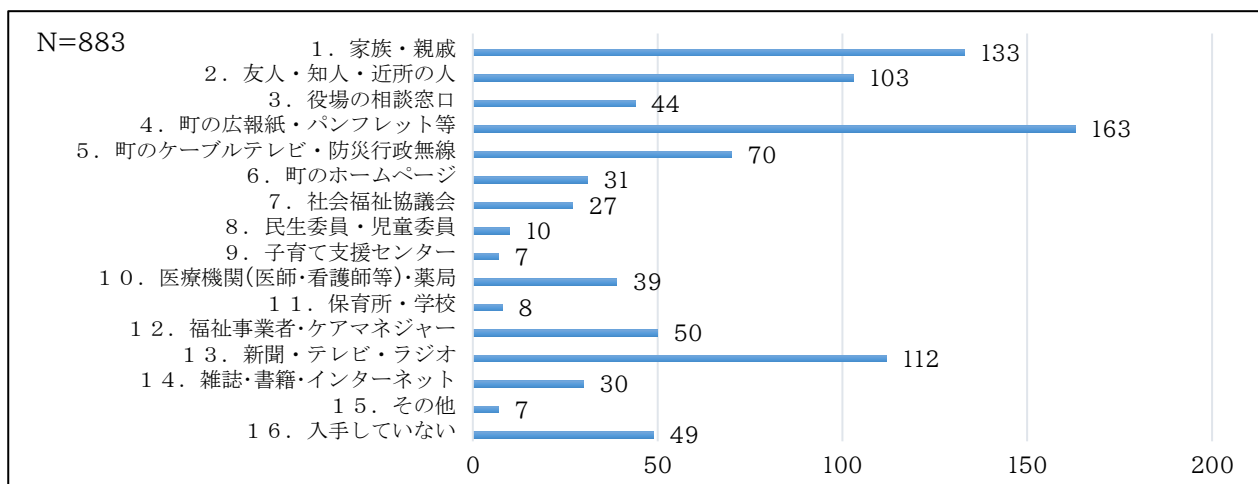
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友人・知人・近所の人 |
| 3. 役場の相談窓口 | 4. 町の広報紙・パンフレット等 |
| 5. 町のケーブルテレビ・防災行政無線 | 6. 町のホームページ |
| 7. 社会福祉協議会 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. 子育て支援センター | 10. 医療機関(医師・看護師等)・薬局 |
| 11. 保育所・学校 | 12. 福祉事業者・ケアマネジャー |
| 13. 新聞・テレビ・ラジオ | 14. 雑誌・書籍・インターネット |
| 15. その他（ ） | 16. 入手していない |

「町の広報紙・パンフレット等」が169（163）件と最も多く、次いで「家族・親戚」が126（133）件、「友人・知人・近所の人（新聞・テレビ・ラジオ）」115（112）件となっています。

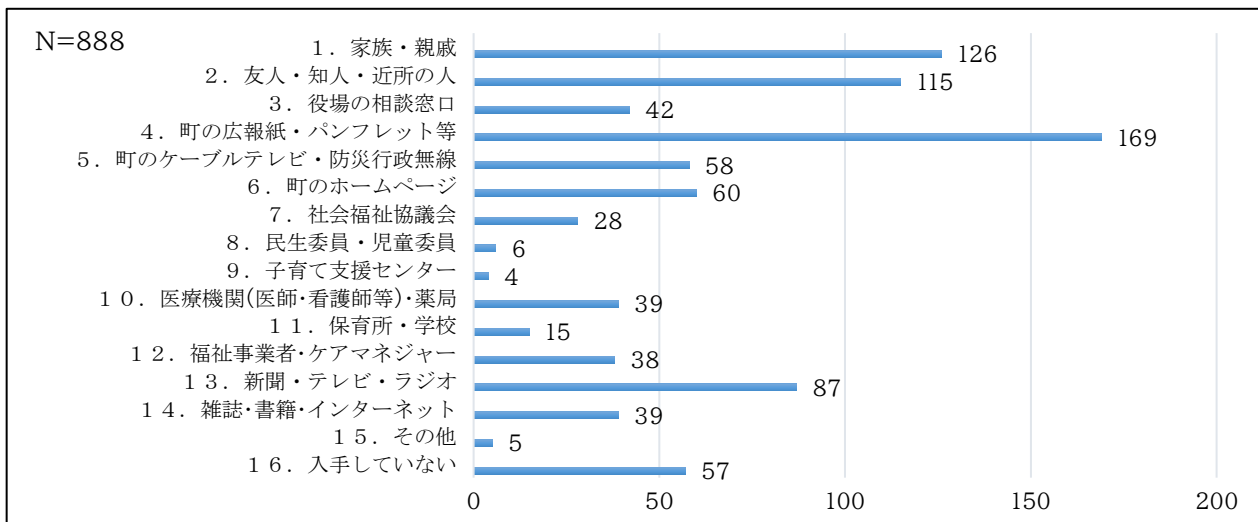
福祉に関する情報源として、「町の広報紙・パンフレット等」、「町のケーブルテレビ・防災行政無線」、「町のホームページ」、「新聞・テレビ・ラジオ」、「雑誌・書籍・インターネット」を合わせると46.5（46.0）%となっており、前回調査と同じく情報媒体の重要性が伺えます。

「その他」について、「職場」、「LINE」、「県の情報」と記載がありました。

【令和元年度調査】



【令和6年度調査】



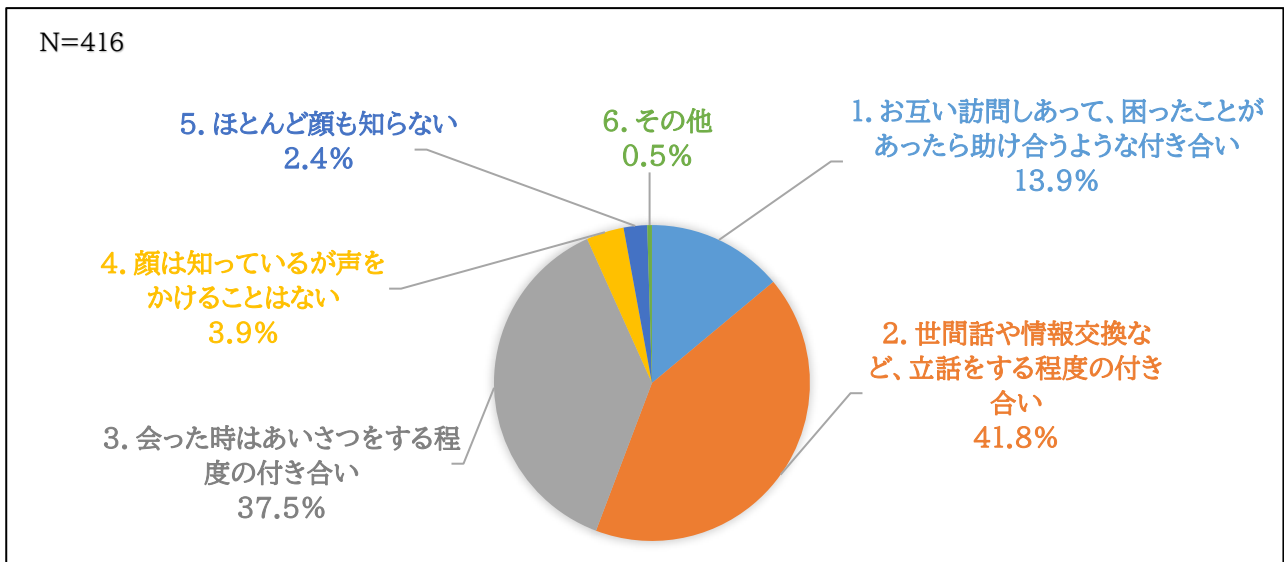
【問11】あなたの近所付き合いは、次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

1. お互い訪問しあって、困ったことがあったら助け合うような付き合い
2. 世間話や情報交換など、立話をする程度の付き合い
3. 会った時はあいさつをする程度の付き合い
4. 顔は知っているが声をかけることはない
5. ほとんど顔も知らない
6. その他 ()

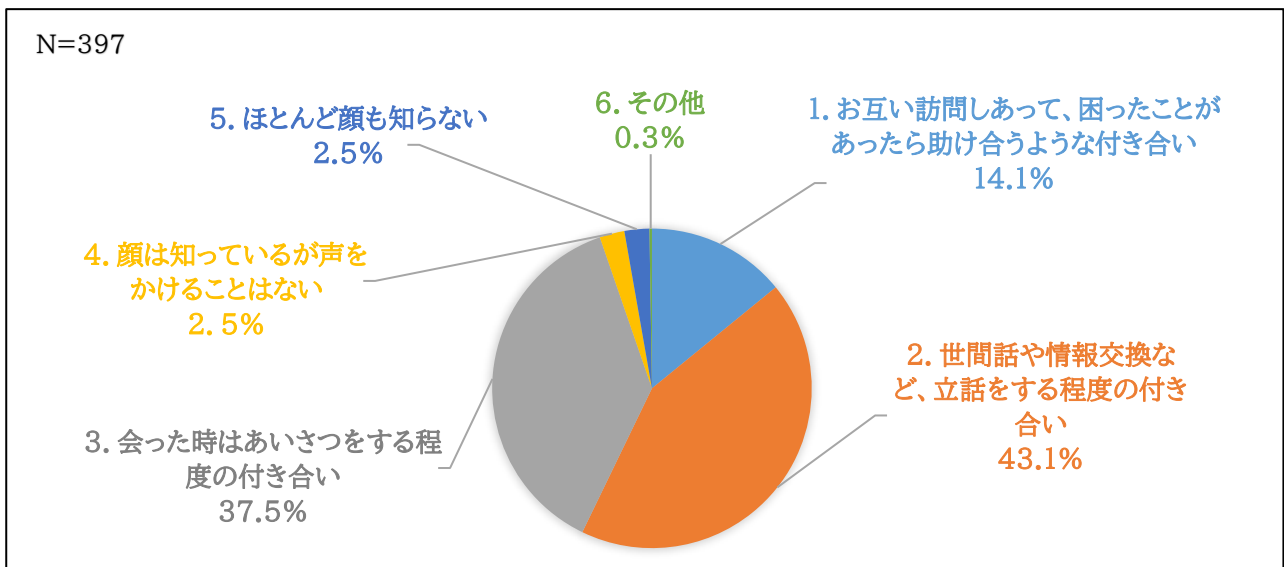
前回の調査と同じく「世間話や情報交換など、立話をする程度の付き合い」の割合が43.1(41.8)%と最も高く、次いで「会った時はあいさつをする程度の付き合い」の割合が37.5(37.5)%、「お互い訪問しあって、困ったことがあったら助け合うような付き合い」の割合が14.1(13.9)%となっており、9割の人がなんらかの近所付き合いをしていると答えています。

「その他」は、「昔はあったが現在は世代が代わりあまりない」と記載がありました。年齢別に見ると、年齢が高くなるにつれて、付き合いが深くなっているのが分かります。

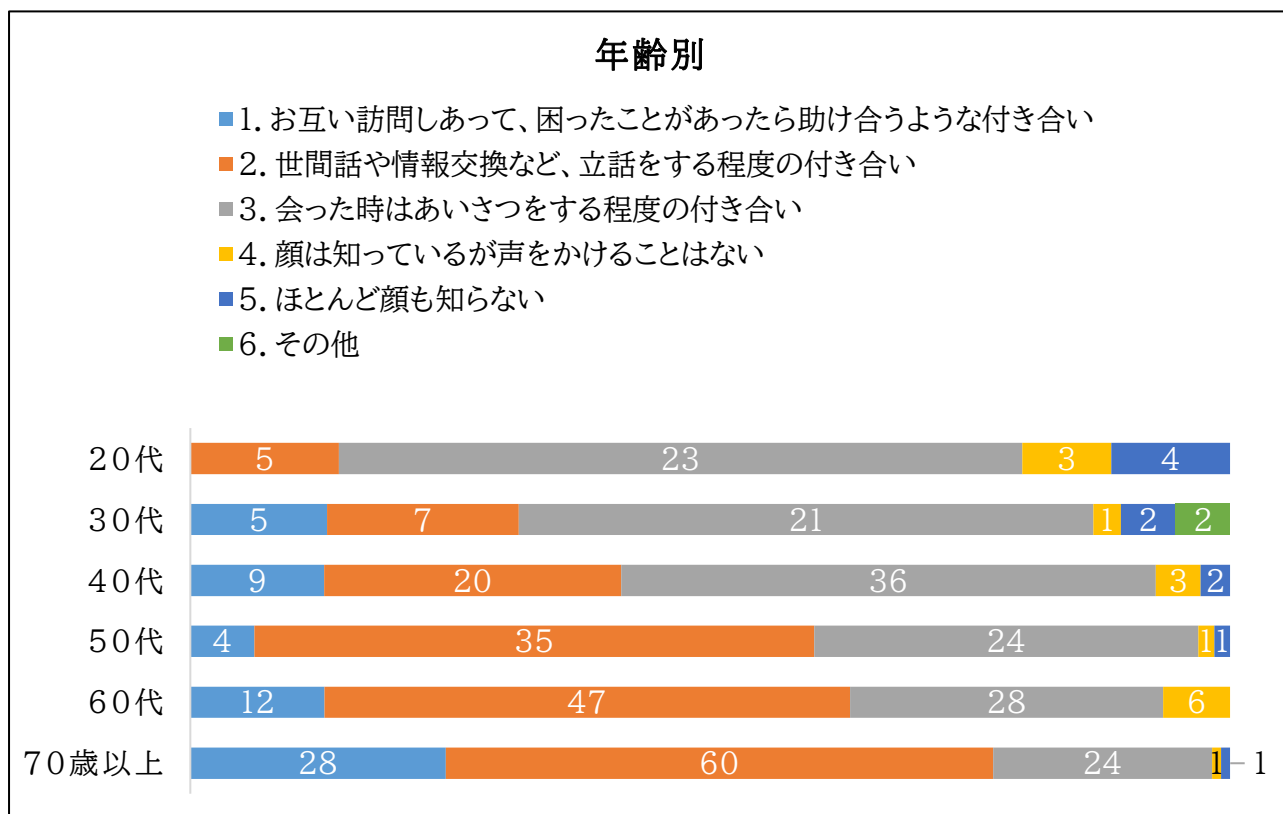
【令和元年度調査】



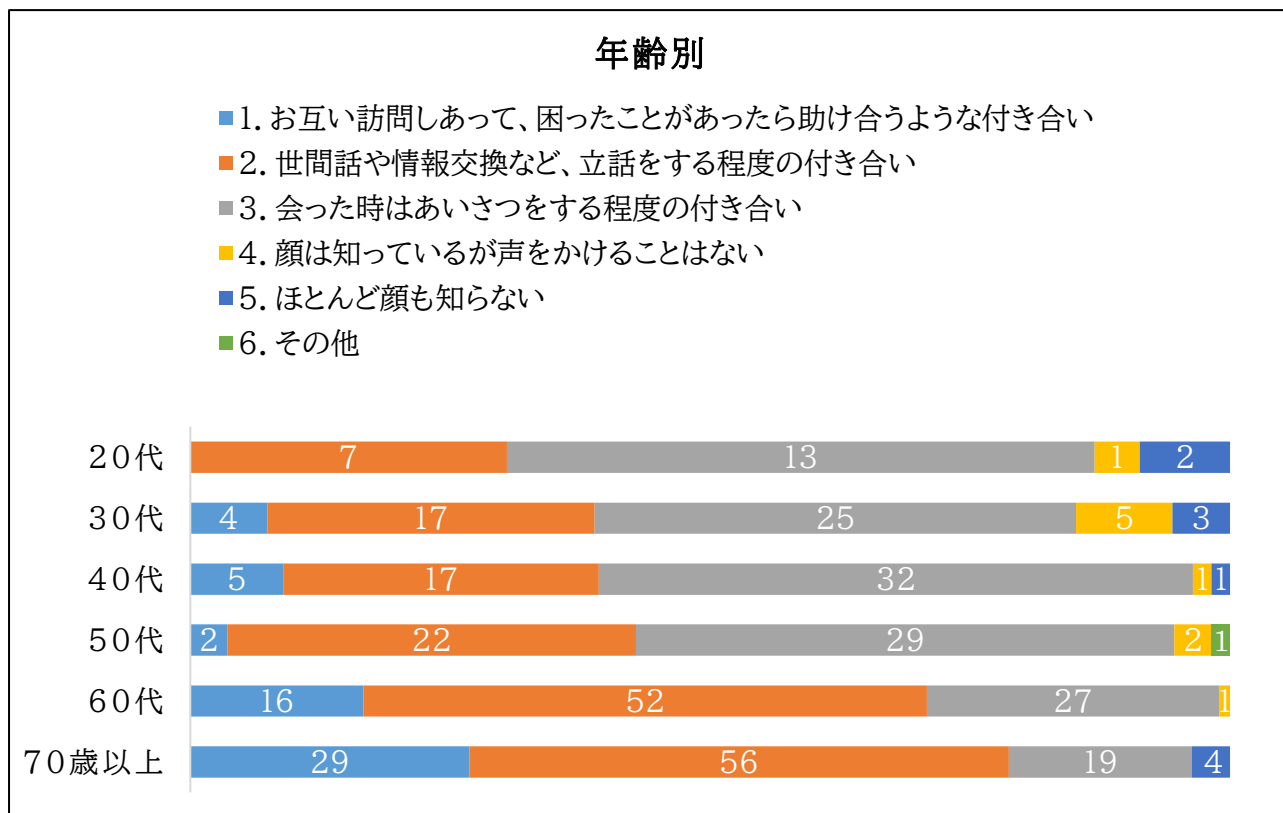
【令和6年度調査】



[令和元年度調査]



[令和6年度調査]



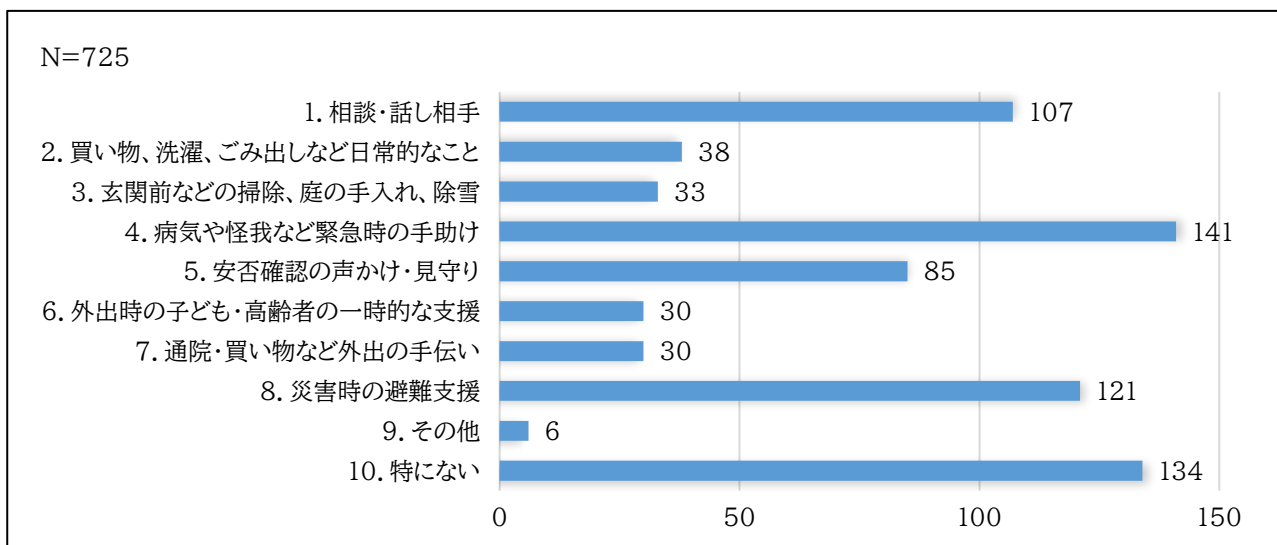
【問12】あなたが困ったとき、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたら、どんなことをしてほしいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 相談・話し相手 | 2. 買い物、洗濯、ごみ出しなど日常的なこと |
| 3. 玄関前などの掃除、庭の手入れ、除雪 | 4. 病気や怪我など緊急時の手助け |
| 5. 安否確認の声かけ・見守り | 6. 外出時の子ども・高齢者の一時的な支援 |
| 7. 通院・買い物など外出の手伝い | 8. 災害時の避難支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |

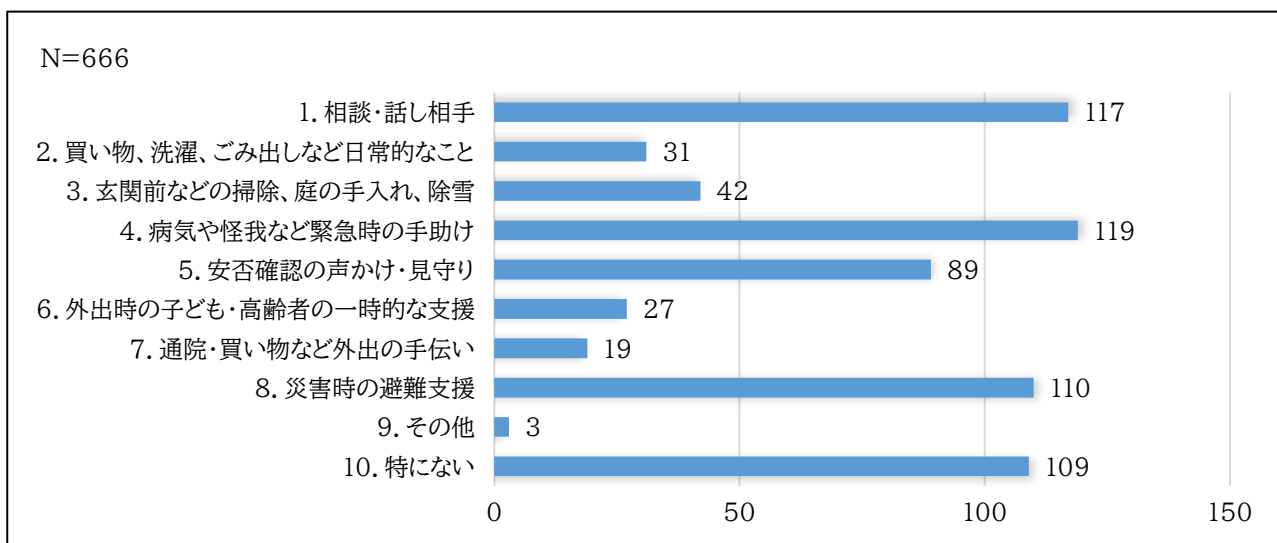
「病気や怪我など緊急時の手助け」の件数が119(141)件と最も多く、次いで「相談・話し相手」が117(134)件、「災害時の避難支援」が110(121)件となっています。

「その他」には、「子どもの送り迎え」、「草刈り」、「申し訳なくて頼めない」と記載がありました。

[令和元年度調査]



[令和6年度調査]



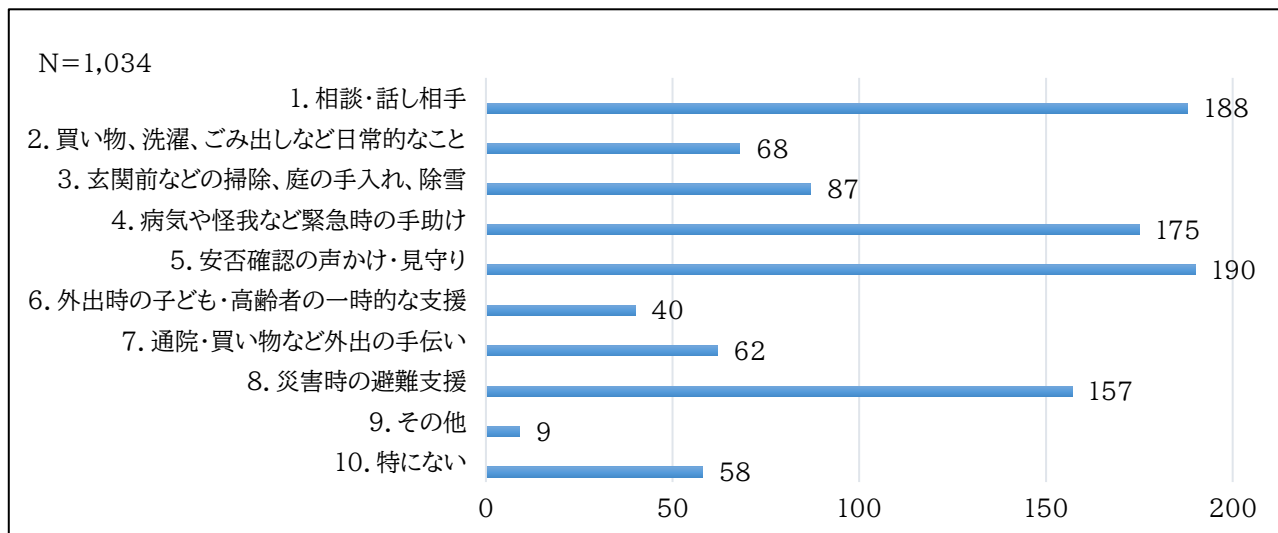
【問13】隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何だと思われますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 相談・話し相手 | 2. 買い物、洗濯、ごみ出しなど日常的なこと |
| 3. 玄関前などの掃除、庭の手入れ、除雪 | 4. 病気や怪我など緊急時の手助け |
| 5. 安否確認の声かけ・見守り | 6. 外出時の子ども・高齢者の一時的な支援 |
| 7. 通院・買い物など外出の手伝い | 8. 災害時の避難支援 |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

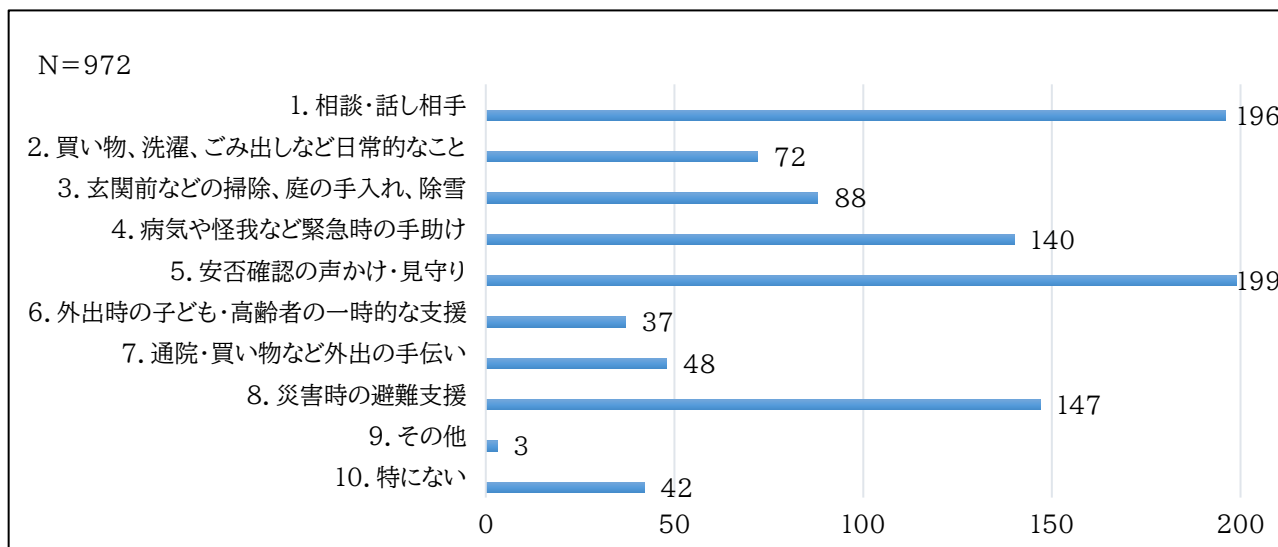
「安否確認の声かけ・見守り」が199(190)件と最も多く、次いで「相談・話し相手」が196(188)件、「災害時の避難支援(病気や怪我など緊急時の手助け)」で147(175)件となっています。

「その他」には、「わからない」と記載がありました。

【令和元年度調査】



【令和6年度調査】



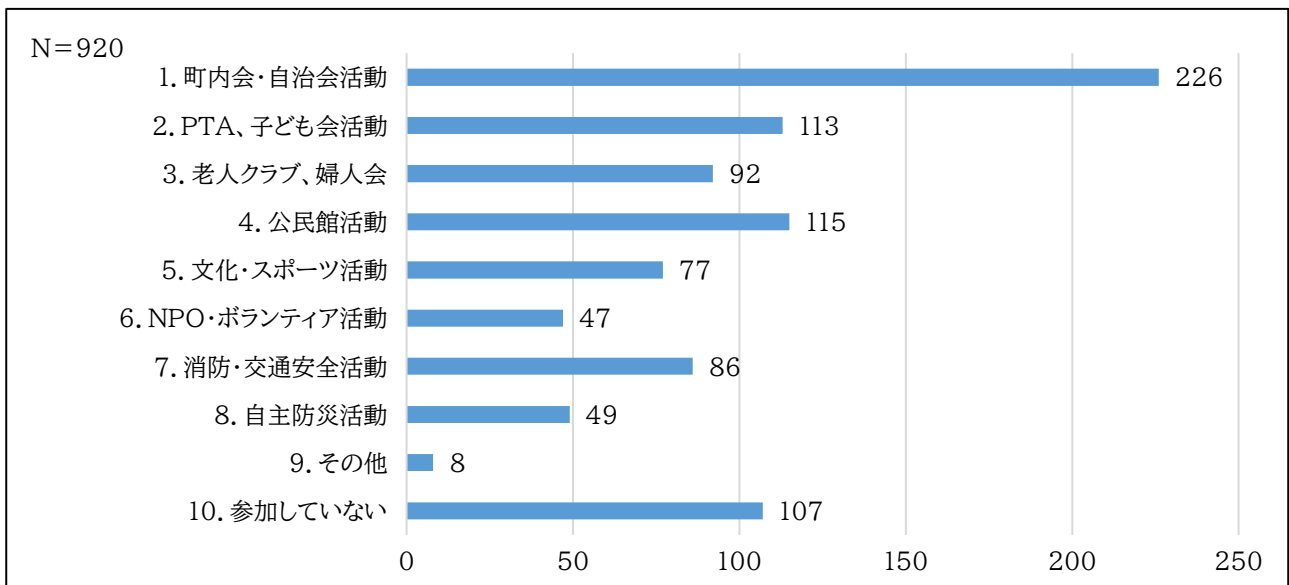
【問14】あなたはどのような地域活動に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 町内会・自治会活動 | 2. PTA、子ども会活動 |
| 3. 老人クラブ、婦人会 | 4. 公民館活動 |
| 5. 文化・スポーツ活動 | 6. NPO・ボランティア活動 |
| 7. 消防・交通安全活動 | 8. 自主防災活動 |
| 9. その他 () | 10. 参加していない |

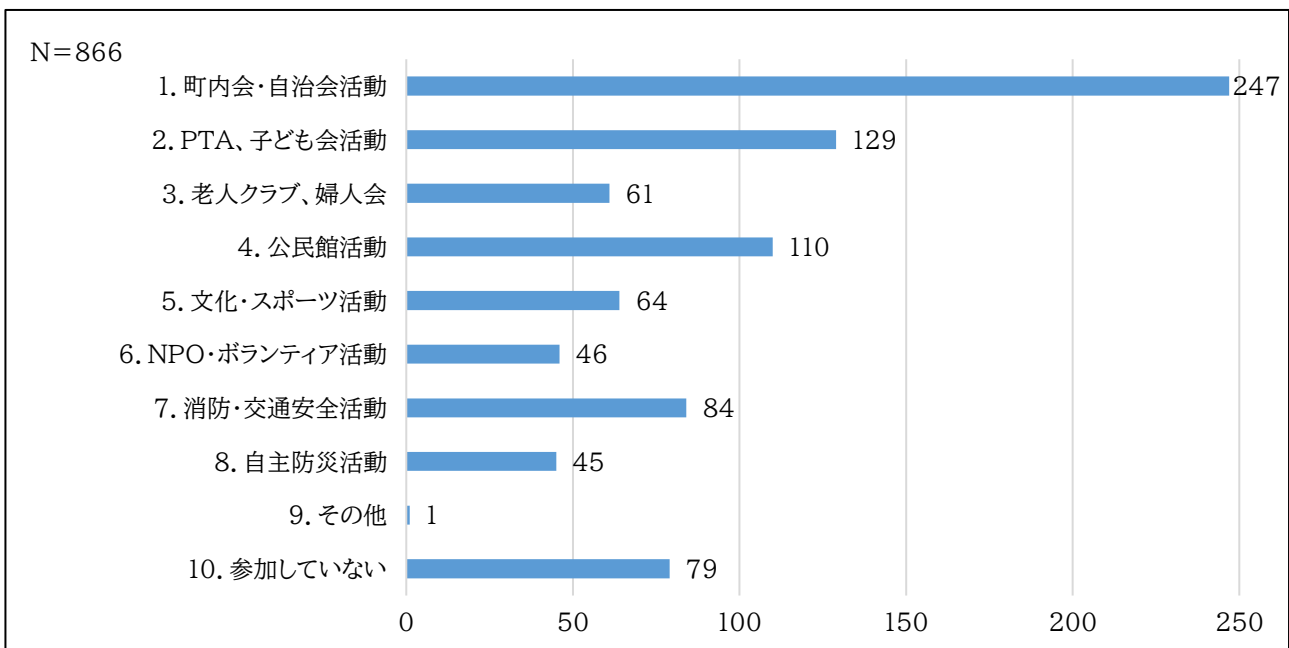
「町内会・自治会活動」が247(226)件と最も多く、次いで「PTA、子ども会活動(公民館活動)」が129(115)件、「公民館活動(PTA、子ども会活動)」が110(113)件でした。

「その他」には、「独居老人宅のお弁当作り」と記載がありました。

【令和元年度調査】



【令和6年度調査】



【問15】あなたは地域活動（自治会、地域の清掃活動など）へ誘われた場合どうしますか。（○は1つだけ）

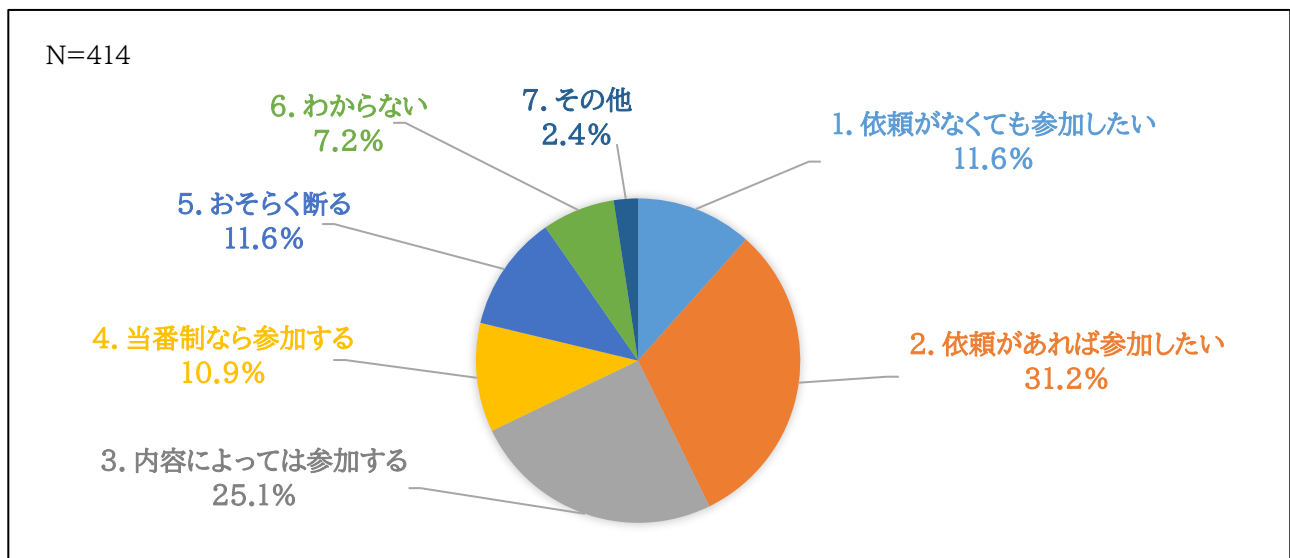
- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に参加したい | 2. 依頼があれば参加したい |
| 3. 内容によっては参加する | 4. 当番制なら参加する |
| 5. おそらく断る | 6. わからない |
| 7. その他（ ） | |

「内容によっては参加する（依頼があれば参加したい）」の割合が31.7（31.2）%と最も高く、次いで「依頼があれば参加したい（内容によっては参加する）」が25.9（25.1）%、「積極的に参加したい（依頼がなくても参加したい、おそらく断る）」が11.6（11.6）%となっています。

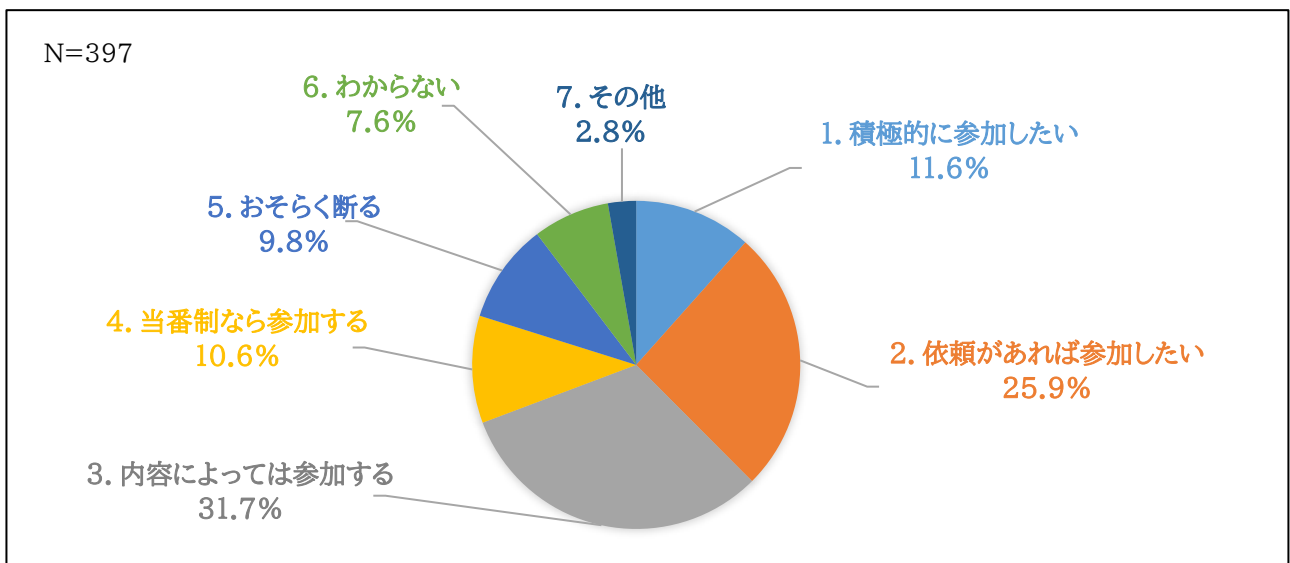
「その他」には、「都合がつけば」、「運転ができないので地域外は無理」、「その時の自分の状況で出られるものには参加も考える」などの記載がありました。

※回答「1. 依頼がなくても参加したい」を「1. 積極的に参加したい」に変更

【令和元年度調査】



【令和6年度調査】



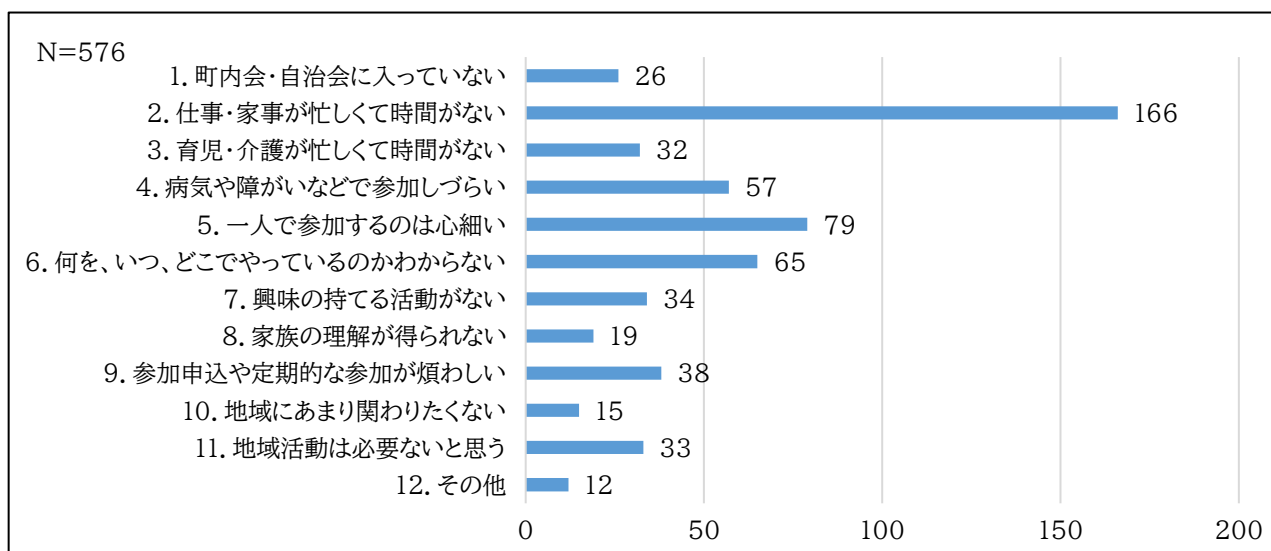
【問16】地域活動（自治会、地域の清掃活動など）への参加に支障になることは何ですか。（〇は3つまで）

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 町内会・自治会に入っていない | 2. 仕事・家事が忙しくて時間がない |
| 3. 育児・介護が忙しくて時間がない | 4. 病気や障がいなどで参加しづらい |
| 5. 一人で参加するのは心細い | 6. 何を、いつ、どこでやっているのかわからない |
| 7. 興味の持てる活動がない | 8. 家族の理解が得られない |
| 9. 参加申込や定期的な参加が煩わしい | 10. 地域にあまり関わりたくない |
| 11. 地域活動は必要ないと思う | 12. その他（ ） |

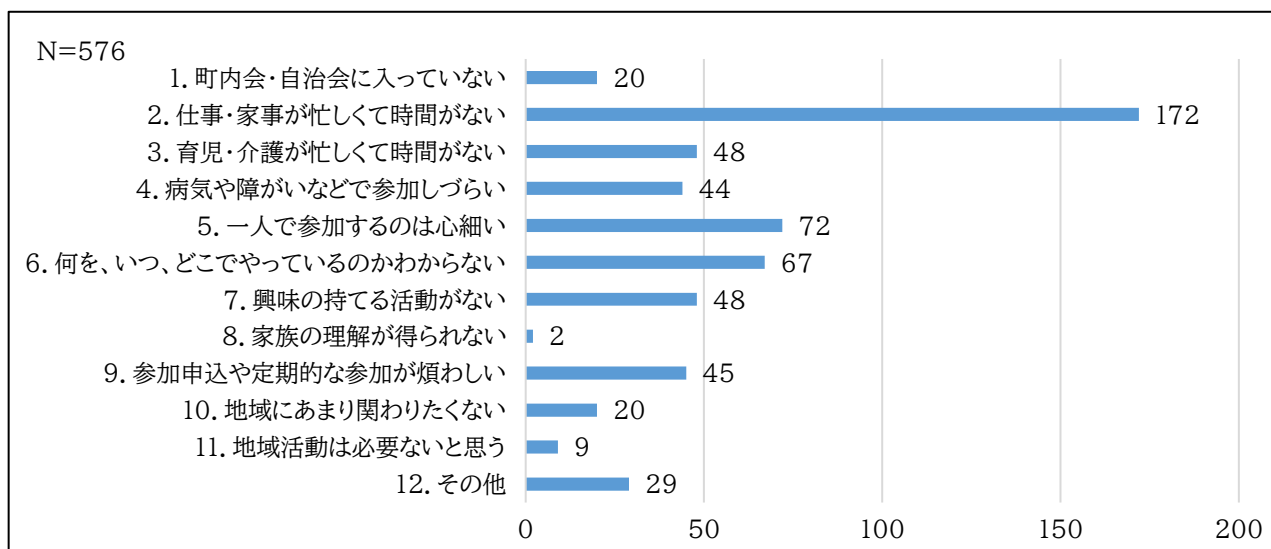
前回の調査と同じく「仕事・家事が忙しくて時間がない」が172（166）件と最も多く、次いで「一人で参加するのは心細い」が72（79）件、「何を、いつ、どこでやっているのかわからない」67（65）件となっています。

「その他」には、「支障になることはない」、「体力、体調」、「強制的に役をさせられる」、「参加料を払わなければいけない事」などの記載がありました。

【令和元年度調査】



【令和6年度調査】

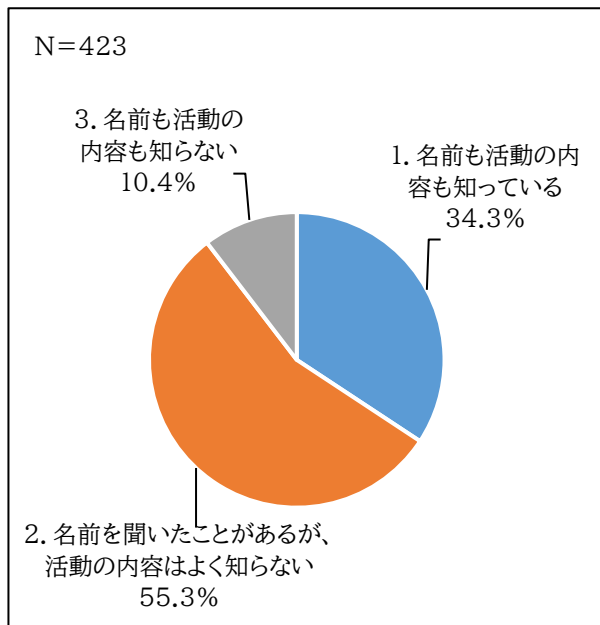


【問19】あなたは、「岩美町社会福祉協議会」を知っていますか。(○は1つだけ)

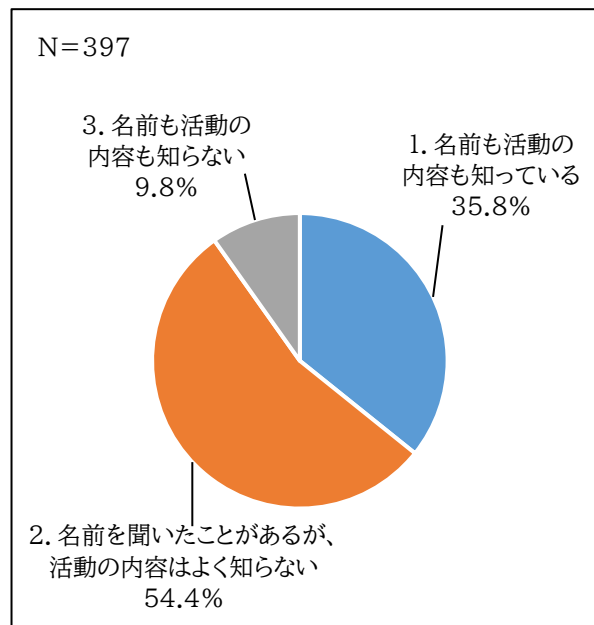
- 1. 名前も活動の内容も知っている
- 2. 名前を聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
- 3. 名前も活動の内容も知らない

「名前も活動の内容も知っている」が35.8(34.3)%でした。

[令和元年度調査]



[令和6年度調査]

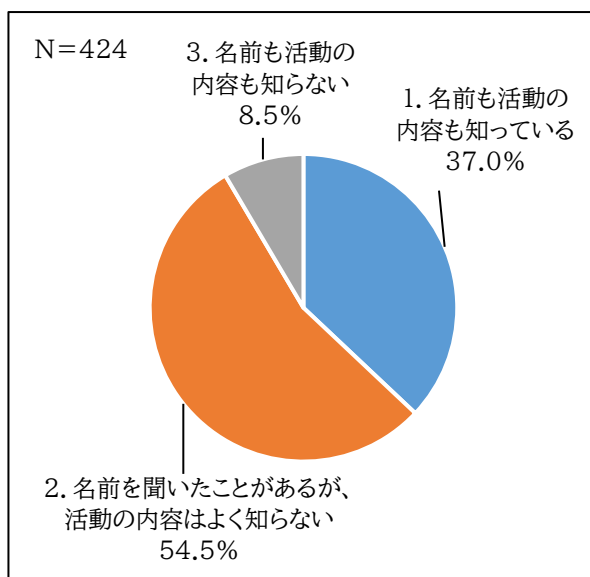


【問20】あなたは、「民生委員・児童委員」を知っていますか。(○は1つだけ)

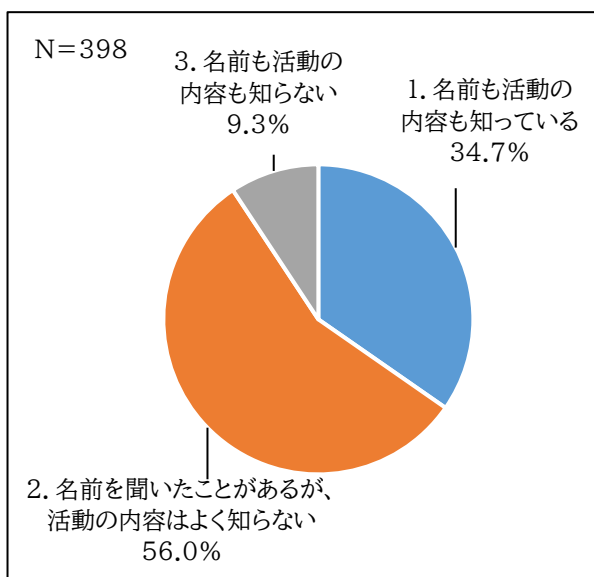
- 1. 名前も活動の内容も知っている
- 2. 名前を聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
- 3. 名前も活動の内容も知らない

「名前も活動の内容もよく知っている」が34.7(37.0)%でした。

[令和元年度調査]



[令和6年度調査]

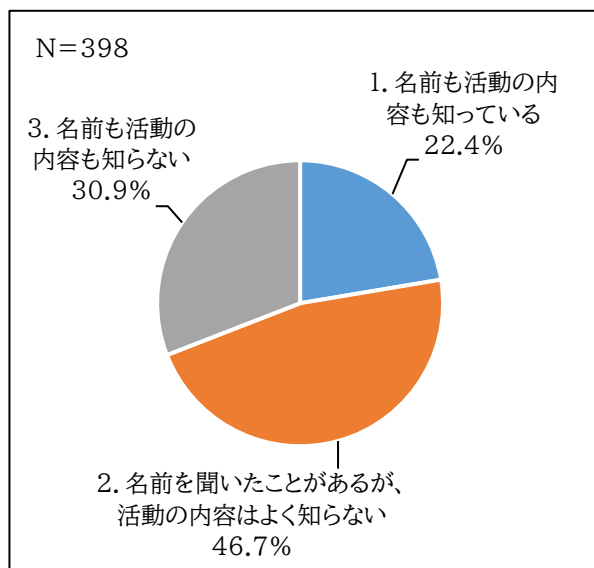


【問21】あなたは、「保護司」を知っていますか。(○は1つだけ) ※新しく追加した質問

1. 名前も活動の内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
3. 名前も活動の内容も知らない

「名前も活動の内容もよく知っている」が22.4%でした。

[令和6年度調査]



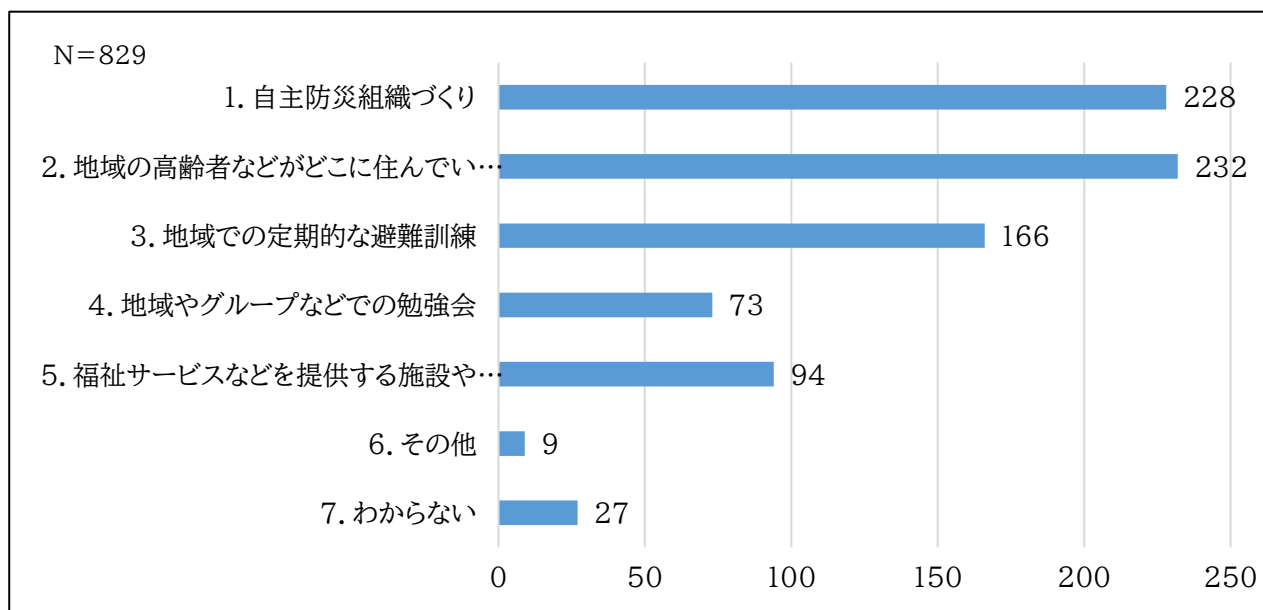
【問22】住民同士がともに支え合う地域づくりを進めるために、住民はどのようなことを行うべきだと思いますか。(○は3つまで)

1. 住民一人ひとりが近所付き合いや助け合いに努める
2. 支援を必要とする同じ立場にある人同士が力を合わせる
3. 町内会・自治会等の活動やボランティア活動へ積極的に参加すること
4. 自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること
5. 講演会やセミナーなどに参加し福祉の知識や技術を学ぶこと
6. 男女共同参画に関する意識啓発
7. その他 ()

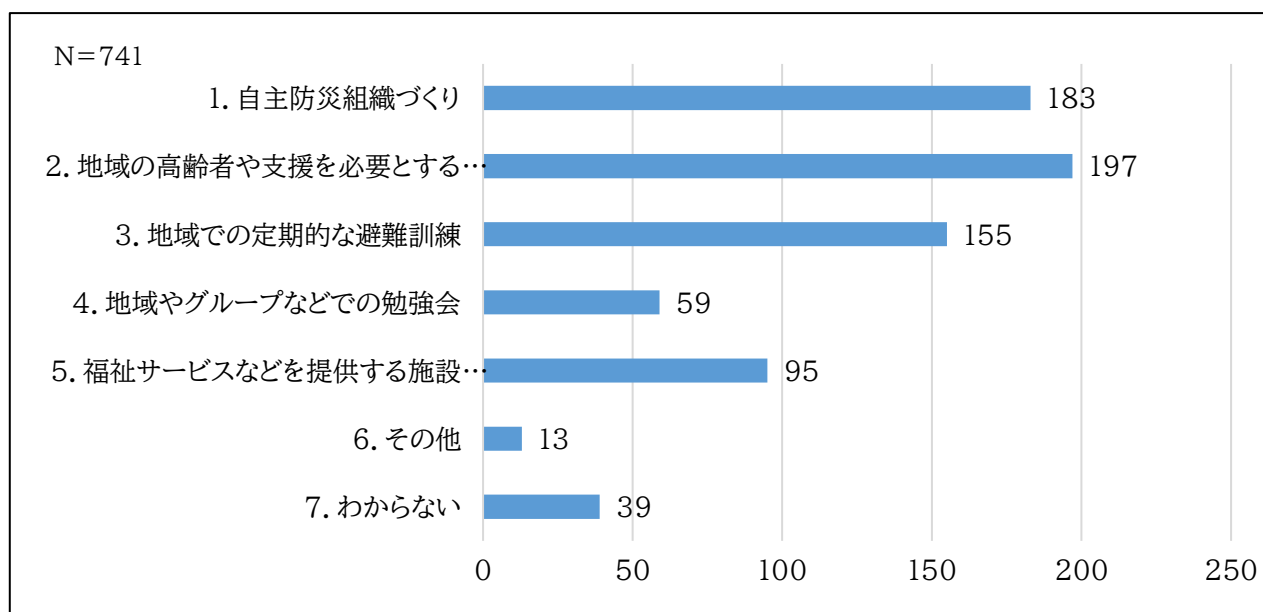
「住民一人ひとりが近所付き合いや助け合いに努める」が277(289)件と最も多く、次いで「自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること(町内会・自治会等の活動やボランティア活動へ積極的に参加すること)」が133(172)件、「町内会・自治会等の活動やボランティア活動へ積極的に参加すること(自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること)」が123(147)件となっています。

「その他」には、「住民の困り事相談は区長さんが中心になって積極的に取り組んでいただけたらありがたい」、「認知症の方、障がいをもった方が地域におられることを知ってほしい。困っていたらどこに電話してつないでくれるといいかをセミナーなどで伝えてほしい」、「住民意識の改善」、「自主防災含めた協力員などの仕組みをつくり広げられるような働きかけをしてはどうか」、「自治会活動(防災関連)を月々実施する。動機付けが大切だと思います」などの記載がありました。

[令和元年度調査]

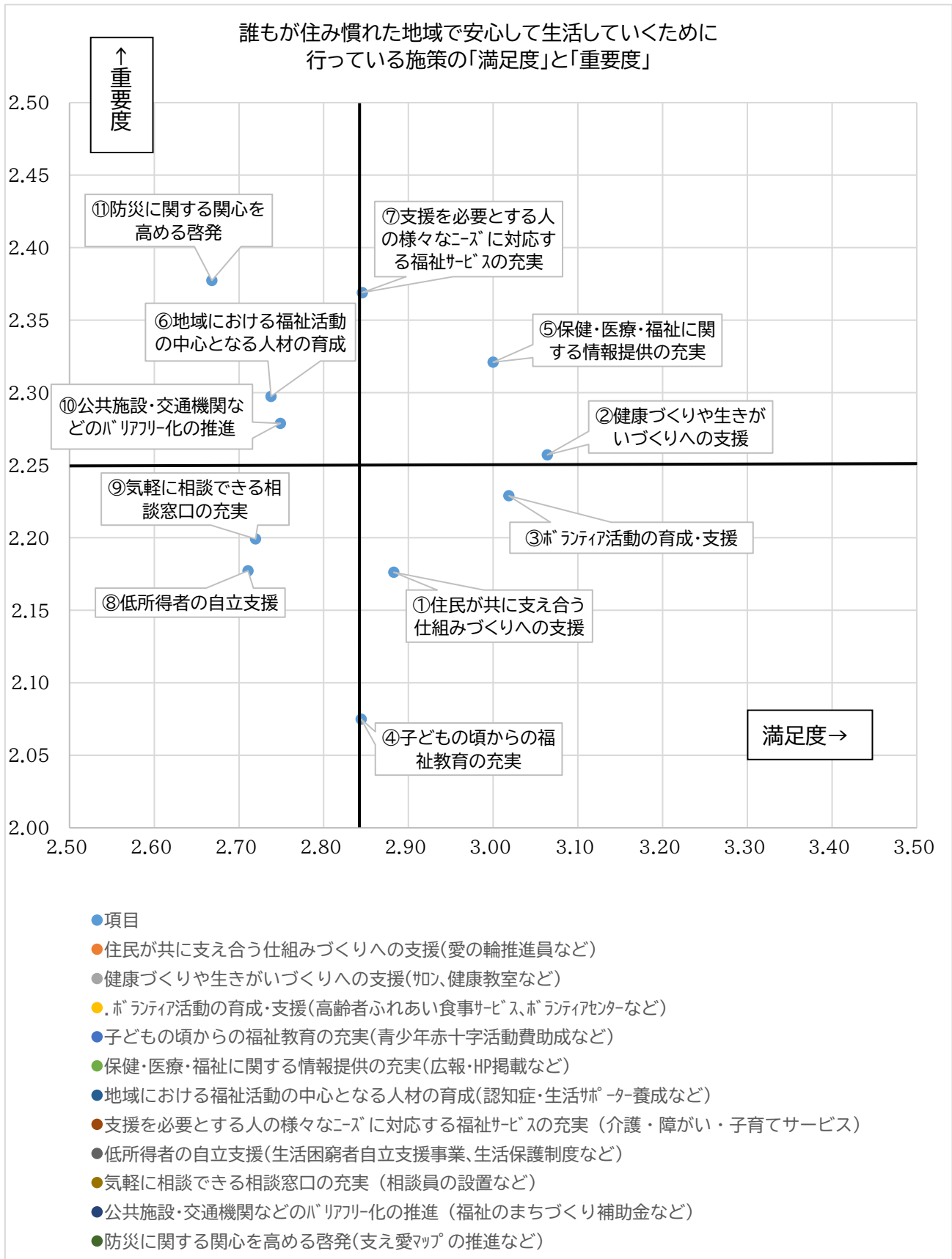


[令和6年度調査]



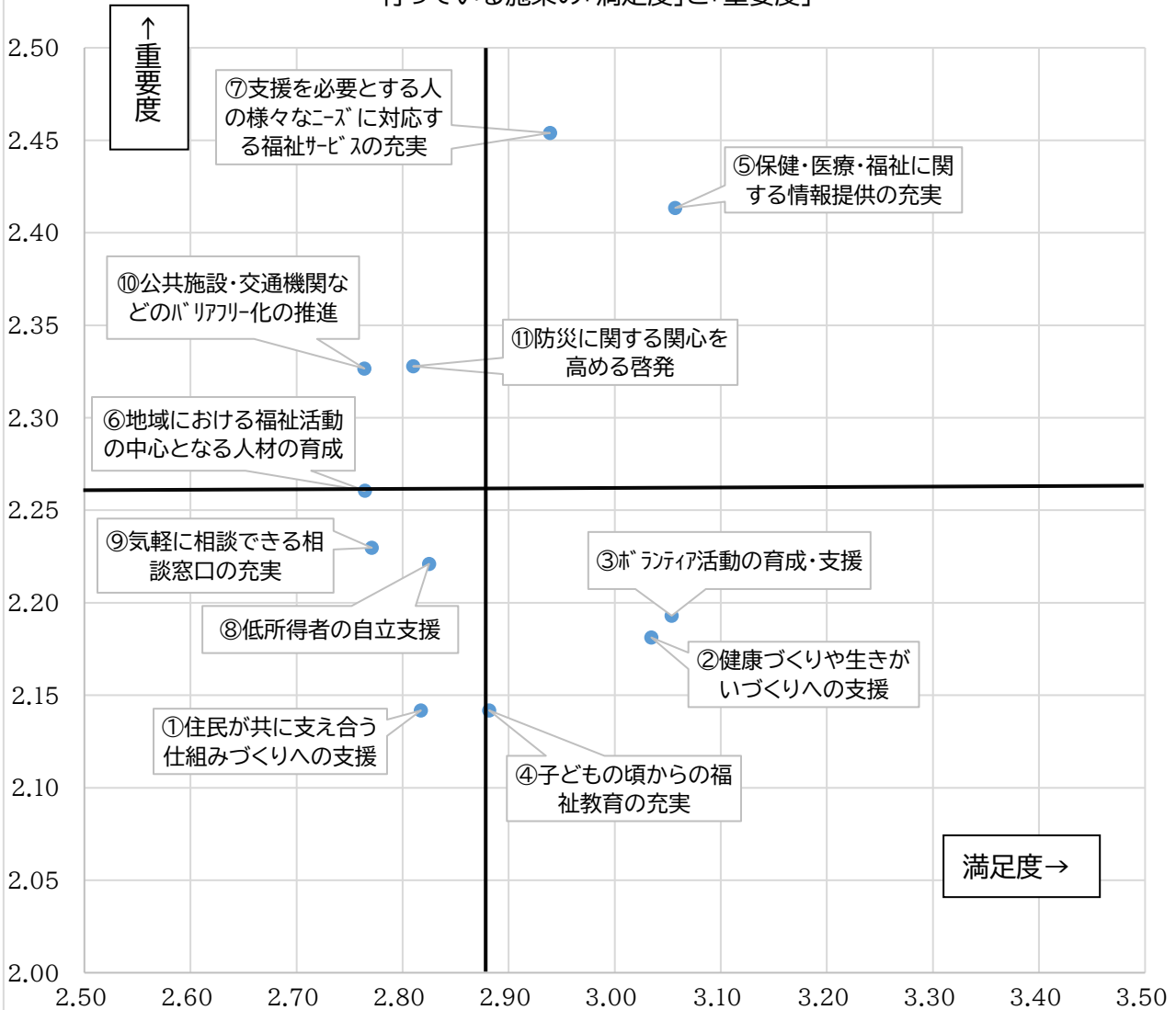
【問24】誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために行っている施策の「満足度」と「重要度」についてお答えください。

[令和元年度調査]



[令和6年度調査]

誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために
行っている施策の「満足度」と「重要度」



● 項目

- 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援(愛の輪推進員など)
- 健康づくりや生きがいづくりへの支援(和心、健康教室など)
- ボランティア活動の育成・支援(高齢者ふれあい食事サービス、ボランティアセンターなど)
- 子どもの頃からの福祉教育の充実(青少年赤十字活動費助成など)
- 保健・医療・福祉に関する情報提供の充実(広報・HP掲載など)
- 地域における福祉活動の中心となる人材の育成(認知症・生活サポート養成など)
- 支援を必要とする人の様々なニーズに対応する福祉サービスの充実(介護・障がい・子育てサービス)
- 低所得者の自立支援(生活困窮者自立支援事業、生活保護制度など)
- 気軽に相談できる相談窓口の充実(相談員の設置など)
- 公共施設・交通機関などのバリアフリー化の推進(福祉のまちづくり補助金など)
- 防災に関する関心を高める啓発(支え愛マップの推進など)

◆ ◆ アンケート記載欄 ◆ ◆

※個人が特定されるような記載については、一部編集しています。

◎自由意見欄

【自主防災・災害対策】

- 防災関係のことが見えてきません。実際災害があったときに、自分が何をすべきか、どこにどう動くべきかを1人ひとりが理解しておくべきだと思います。特に津波が怖いです。その他のことについては全般的に充実しており、困ったときには頼れる町づくりをしてくださっていると感じています。
- 自身が起こった際の西小学校での避難方法はどうなっているのか？（海が近く、近くに高台もないので心配です）
- 自ら行動しておらずえらそうなことは言えませんが、高齢化問題や災害の増加・甚大と今後が心配なので充実した制度があると安心です。

【人口減少問題】

- 近年子どもたちが極端に少なく、鳥取、大阪等へ出てしまい、種々事由があるが町が各地区役員等問題点等、早急に検討すべきではないでしょうか！
- 普通に引越して移住すると、公共施設の場所や町の制度等が全くわからない。今後人口が激減するだろうから、海外からの移住者も積極的に斡旋教育すべき。

【地域交通】

- 自動車の運転免許を返納してから買い物難民になりバスで1週間に1回買い物をしています。バス賃を少し補助的な事をしていただけたらありがたいです。
- 交通機関が不便である。バス、タクシーを利用する場合に。
- 役場、岩美駅周辺の生活、買い物、医療関係の環境はよくなっているが、それ以外の地域でのその環境、福祉は改善されてなく、一番は高齢者の交通不便さが問題である。
- 本庄地区は交通が不便です。八頭町みたいに町内300円タクシー券があったら駅やバス停に行くことが少し楽になると思います。
- 車の運転が出来ないので参加しようと思っても出来ない。
- 公共の交通機関をもっと便利にしてほしい。バスとJRの接続時間等。観光客の方にも不便すぎる。福祉に関係ないような意見で申し訳ないです。
- 中学生、免許返納した高齢者が公共交通機関（主にバス）がなく、土日祝日に家から出ることができずに困っています。何かしらの支援があれば周知いただきたいです。

【子育て支援】

- 子育てサービスが充実しており、助かっています。特に学童保育が7時～19時までと長く、核家族、共働きの身としては大変助かっています。岩美町へ引越してきたのも、そこが決め手となりました。ありがとうございます。公園が少ないので遊具は少なく、もしくはなくても良いので近くに子ども達のがびのび遊べるような空き地があれば良いなと思います。(ボール遊びができるような)
- 子育てがしやすいとはあまり思えない。市内は8時30分から16時30分(短時間保育)の預かり。同様にしてほしい。育休をとっているが夕方、迎えが早すぎて困難を感じる。

【雇用促進】

- 岩美町に住民票がある働き世代を対象に、創業者を増やす為のボランティア活動を行う。(岩美町に多額の税金を落とす人材＝雇用増加や新商品の開発・外資を稼ぐ貿易やインバウンド観光系の経営者など、岩美町を支える社会福祉の為のお金を生む優秀な人材を育てる事を目的とし、講演会や創業支援などのボランティア活動を行う)

【地域コミュニティ】

- 私は比較的町中に住まいがあるため、老後も買い物等に苦労はないものと思っていますが、ご近所さんとのコミュニケーションがコロナ禍以降大変少なく、多くの住宅(新築)も増えたこともあり周りの方がどこの人なのかかわからない状態で、この先を考えると生活の苦労より人間関係が不安に思っています。福祉から外れましたが、町内としてもコンパクトシティ化した方が管理してもらいやすいのではと思います。
- 現在両親も元気で、又日々働いているため情報、関心ともに薄く意見がありませんが、地域活動の為には知り合う動機づけが必要ではないでしょうか？(実践的な活動)
- コミュニティナースという活動(取り組み)があるのを知りました。(株式会社CNCという島根の方の会社？団体です)この方々が提唱するようなカタチで、老若男女関係なく地域の人と人がつながっていくのが理想だと思いました。
- 自治会の活動等については、これまでのやり方では回らないと感じる。今の時代、定年退職後も就労する人は多くボランティア精神だけでは厳しいのではと感じる。自治体からも各地のモデルケース(成功例)を住民に提示していくことも必要かと思う。
- 人口が減少する中で、自助か共助で支え合うにも限界がくることが目に見えている。三十年か四十年後を見据えて、コンパクトシティ化のように薄く分散した人口を市街地に集めて、車がなくても生活が完結でき、福祉のコストも少なく済むような町づくりを進めてほしいと考えている。
- 高齢化、多死社会をむかえ家族の在り方も変化している。身寄りのない人、家族と疎遠などの課題を抱えている人も多いように思う。その人たちも安心して地域で生活できる仕組みは急務ではないかと思っている。そして住民にもその仕組みが分かるように積極的に発信して欲しい。

【福祉支援（介護福祉・障がい福祉・生活福祉）】

福祉一般

- 情報を知るツール・情報等が複雑すぎて良くわからない。そのため、必要なサービスを受けられない事が多いように思う。
- 岩美町の福祉の充実に期待します。
- 支え愛アップを作成しても耳が不自由な人、目が見えない人にはわかりにくいと思います。そういう方々には点字でマップを作成したら良いと思います。
- 家族が障がい者福祉のお世話になっており、高齢化と若年人口の減少が進行していく中、今の水準を維持していくためには様々な形での負担増は覚悟しなければならないと感じている。
- 福祉についての知識があまりないので色々な内容の勉強会をたくさん行ってほしい。
- グループホームや有料老人ホームが足りない。国の施策と考えるが、町としても積極的に国に要望するとともに、町としてできることの支援を考えて下さい。

介護福祉

- 介護が必要になった時、まずどのように動いたらいいかなど分からない事だらけだったので、もっと分かりやすくしていただけたらと思う。また施設に入居した後の担当ケアマネからは何も一切連絡がなくなったのでそんなものなのかと少し残念だった。
- 自分に介護が必要になった時すぐ対応してもらえるか心配です。
- 介護保険についてどうしたらいいか知らない人がいる。どこへ行けば申請できるのか等、住民に知らせるべきだと思いますし、申請してからの時間の長い事、短くならないものかと思います。
- 1人で生活している人が増えて、これからも…。身内も頼れる人がいない場合、病気になり入院となっても保証人を記入したりしなければいけない事などが不安です。保証人は必要だと思いますが、いない人はどうすればいいのか…。これから先は不安しかない。
- 母と同居をしています。今はまだ他人様の力は借りていないのですが、いずれはそうなるのではと思うと、ストレスを溜めにくい心のケアができる場所にお世話になることを一番に考えた方がよいのかなと思っています。

障害福祉

- 子育て世帯だけではなく、高齢者、障がい者にやさしい町にしてください。

生活福祉

- 誰もがなりうる病気（認知症）などへの対応などはしていると思うが、まれな病気やまれなケースについては対応してくれることが少ないと感じる。金銭的にみんなが平等になるように給付などしてほしい。（一律だと結局格差が出ると思う）

【環境（ごみ）問題】

- ゴミ捨てるの精度が落ちていて迷惑。ゴミが捨てたければ準自治会員という制度などを設けてゴミ掃除や地区掃除くらいしてほしい。自治会員以外の方には本当はゴミを捨ててほしくない。
- 居住環境に関する事です。隣の空き地が草で荒れ放題です。土地所有者への連絡のつけ方も分かりません。その場合の対処法はどうしたらいいのか。自治体・町内会が対応してくれるのか？所有者への管理義務を徹底してほしい。
- 住民が心から岩美町を愛せる町づくりをしてほしい。役場への印象も良くありません。大切なのは世間体ではなく全ての住民が岩美町を好きでいられる事ではないかと感じます。別件ですが管理されていない土地の草にも困っています。町でどうにか出来ませんか。誰が見ても美しい町づくりしませんか？皆で一緒に。

【社会生活保障支援】

- 社会保障全体に関する国の制度と町の取り組みとの連携が必要であり、一つ一つの項目を細かく見て、一律に考えることがないように、本当に必要な人に必要な事に費用をかけるべきで低所得者、生活保護者、障がい者であれば何でも良いのではなく中間層でも違った内容で困った事があるので、細かな策が必要だと考える。

【医療支援】

- 医療費負担を下げしてほしい。
- 岩美にリハビリ施設があったらいい。リハビリやデイサービスに行くほどではないが、高齢者が行けるジムみたいな場所（看護師さん、理学療法士さんも常駐している）があったらいいなと思います。お風呂も入れてくれて、昼ご飯を食べたら帰ったら直良。
- 産婦人科、小児科を増やしたり、子育て世代が住みやすい環境になる為のボランティア活動をして欲しいです。他県と若い世代を取り合って、移住をしてもらうのではなく、そもそもの若い夫婦が子供をつくりやすい環境づくりへのボランティア活動が最優先事項だと思います。
- 岩美町在住の高齢者が、かかっている病気の種類の統計を取り、岩美の病院が病気を治せているか（税金が正しく使われているか）を調べる。そして、複合的に病気にかかっているお年寄りを減らす（健康寿命を伸ばす）為に、岩美町が把握している生活習慣病トップ3とかを炙り出して、ローカルテレビや広報で予防・対策の情報発信をする。

【その他】

- 生活していくため子育てのために必死に仕事と家のことをやっている世代の人間にはお金をもらえることが一番の助けになります。子供を立派に育てることにしか力を使えないので自分の将来や周りの人まで気がまわりません。ましてやボランティアをしようとか考えたこともありません。
- 今特に必要としていないためどんなサポートや支援があるか把握していません。本当に困った時に町報や近所の方に聞いて知ることになると思います。

- 特にありません。町はよくやってくれていると思います。
- 生活保護の人たちは恵まれすぎである。人様の税金で毎日汗水流して働いている人よりも生活が上である。もらえなくなるから働かない。預金もしない。何かおかしい世の中です。真面目な人がバカをみる。それでも自分が許せないから働き続ける。
- 家族が在学中、勤務中なので昼間の事が全然わからない。朝と夜の有線放送しか知らない。なので、後々そうだったんだと認識することがほとんど。
- どの様な現状でどの様なニーズがあってどれ位の予算や人員が必要で現在はどのような活動がなされているかという事が全く知らないしわかりませんでした。
- 時間の許す範囲で行事等に参加しているし、参加する気持ちはあります。また、近所のおじいさん、おばあさんたちにも声をかけてもらう事もありますが、強い老人が地域にたくさん居てその人たちが考えを変えない限り私の住んでいる町内会は変わりませんし、助け合いは難しい。昭和の考えもステキだと思いますが、ぜひ令和の考えになってほしいものです。
- アンケートが届くことが多いが、特定の人への送付ではないと思いますが、時間もとられます。もっと多数の方への送付で1人が負担とならないようにして欲しい。
- 町民全体のボランティア活動の意識啓発の高まりが薄ければ要望しづらいと思います。形だけの窓口では問題も解決しないと感じます。
- 近所付き合い助け合いは出来る事であればやりたいと思いますが、その後お礼を持ってこられる場合があり、そんな事をされるのであれば手を出す事を迷っています。活動についてもその場に行く足がなくなります。何かしてもらっても、してあげても、お礼が付いて来るようでどうすべきか困ります。それならしない方がいいのかなと思います。アンケートはなるべくしたくないと思います。いろいろ迷ってしまいます。
- 相談したいことがあってもたいていの人はこんな事を聞くのははずかしい又は迷惑がかかるのが申し訳なくて連絡しないと思うので、気軽に話せる（頼れる）組織作りをしてほしいです。
- ありがとうございます。よろしく願いいたします。
- 住み良い町づくりをよろしくお願いいたします。
- 専門性を身につけたスタッフ、役場職員、地域の方を増やしてほしい。相談した時に一般的なことではなく様々な方法があることを教えてくださる方が多くおられると安心が得られる。
- 自治会費が高額。
- 高齢化が進んでいる岩美町で、とても大事だと思います。けれど、町内のラジオや防災放送などを活用しておらず、情報はほとんどわかりません。ですが少くから何か税など、少しでも岩美町が良くなるために協力できればと思っています。20代です。
- 特にありませんが日本の福祉、医療の充実は大切だと思います。現政権の福祉切り捨て軍備拡大路線には強い危惧をおぼえます。

【アンケートについて】

- 若年層に福祉は遠いところにある。もう少しよりそったアンケート内容であってほしい。
- このアンケートが何の役に立つのか？
- いつも様々なアンケートを実施しているが、活用されているのでしょうか。結果をまとめるだけで満足されていないのでしょうか。